産休・育休にかかる事務手続きについて



名取市小中学校事務職員研究会

はじめに

「出産・育児」は女性にとってとても大きな出来事です。育児休業が3才まで取得出来る(平成14年4月~)ようになり、すでに15年が過ぎました。

育児休業をいつまでとるのか?部分休業·育児短時間勤務など選択肢も増えました。

少し前になりますが、平成26年4月から産前産後休暇中の共済掛金免除が受けられるようになり、平成27年10月から標準報酬制が導入され、育児休業終了時改定・3歳未満の子を養育している期間の特例などが適用になる場合があるなど、制度は変わってきています。

私たちは、これから出産を迎える先生に、出産後の相談をされた時に正確な情報 を伝えなければなりません。

出産~育児休業は、給与・学事・共済組合・所得税・その他と内容が多岐にわたり、 また、夫側・妻側、その両面から遺漏のない事務処理を行わなければなりません。

最近では、育児休業中に第2子出産等というパターンも珍しくなくなってきました。

職場の年齢構成にもよりますが、ここ数年、産休育休事務を取り扱っていない、という事務職員もいると思います。そこで、条例の改正等をしっかりと把握し、遺漏のない事務処理を行いたいものです。

宮城県教育委員会では、宮城県男女共同参画基本計画・次世代育成支援対策推進法・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律をもとに、特定事業主行動計画が策定され、男女を問わず、職員が仕事と子育ての両立を実現するための取り組みをしています。

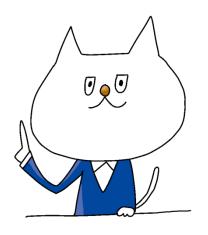
行動計画の中で男性の育児休業の取得目標は13%となっていますが、平成28年度における男性の育児休業取得率はわずか1.8%となっています。

あまり例のない、男性の育児休業ですが、参考となる事例も取り上げてみました。

今回の資料が、皆さんのお役に少しでもたてば幸いです。

平成30年1月 名取市事務職員会

1 標準報酬月額について



標準報酬月額「定時決定」について

定時決定の対象となる人

毎年7月1日に組合員である方(休業・休職中の方を含む)。

ただし、次の方は、その年の定時決定を行いません。

- ・ 6月1日から7月1日までの間に組合員の資格を取得した方
- ・ 7月から9月までの間に随時改定, 育児休業等終了時改定, 産前産後休業終了時改定を行う方

算定方法

4月,5月,6月の3ヶ月間に支給された報酬の総額をその月数で除して得た額を「報酬月額」とし、この額を標準報酬等級表にあてはめて、標準報酬月額を決定します。

ただし、この3ヶ月間に支払基礎日数が17日未満の月があるときは、その月を除いて算出します。 育児休業により3ヶ月とも報酬が支払われていない場合は、従前の報酬月額になります。

定時決定の適用時期

原則として、その年の9月から翌年の8月まで適用されます。 ただし、10月以降に随時改定等の改定がある場合を除きます。

高舘 マスオ先生の給与明細を見てみましょう。

(美田園中学校教諭) 地域手当1.5% 寒冷地手当の支給なし

教育職給料表(二)2級36号俸

通勤方法 自家用車使用 通勤距離 6.2km 5,300円(非課税限度額 4,200円)

住居 賃貸の契約者本人 家賃月額 85,000円

| | | | | | | 給料 | | | | 初任給調整 | | |
|---------|--------|--------|--------|----------|-------|---------|--------|---------|--------|-------|-------|--------|
| 支給月 | 職員コード | 氏名(漢字) | 高 | 諸舘 マス: | 才 | (含調整額) | 教職調整額 | 地域手当 | 管理職手当 | 手当 | 扶養手当 | 通勤手当 |
| 2016-04 | | 氏名(カナ) | タナ | タカダテ マスオ | | 249,000 | 9,960 | 3,884 | | | | 5,300 |
| | | 特地勤務手当 | | 農林漁業 | 定時制通信 | 義務教育等 | 特殊勤務手当 | 特殊勤務手当 | | 時間外勤務 | 時間外勤務 | |
| | 住居手当 | へき地手当 | 産業教育手当 | 普及指導手当 | 教育手当 | 教員特別手当 | (月額) | (日額) | 単身赴任手当 | 手当(1) | 手当(2) | 休日勤務手当 |
| | 27,000 | | | | | 3,200 | | 18,000 | | | | |
| | | | 管理職員特別 | 期末・勤勉 | | | | | | 共済組合 | 退職等年金 | |
| | 夜間勤務手当 | 宿日直手当 | 勤務手当 | 手当 | 寒冷地手当 | | | 総支給額 | 短期掛金 | 厚生年金 | 掛金 | 介護掛金 |
| , | | | | | | | | 316,344 | | | | |

| | | | | | | 給料 | | | | 初任給調整 | | |
|---------|--------|--------|--------|----------|-------|---------|--------|---------|--------|-------|-------|--------|
| 支給月 | 職員コード | 氏名(漢字) | | 諸舘 マス: | | (含調整額) | 教職調整額 | 地域手当 | 管理職手当 | 手当 | 扶養手当 | 通勤手当 |
| 2016-05 | | 氏名(カナ) | タナ | タカダテ マスオ | | 249,000 | 9,960 | 3,884 | | | | 5,300 |
| | | 特地勤務手当 | | 農林漁業 | 定時制通信 | 義務教育等 | 特殊勤務手当 | 特殊勤務手当 | | 時間外勤務 | 時間外勤務 | |
| | 住居手当 | へき地手当 | 産業教育手当 | 普及指導手当 | 教育手当 | 教員特別手当 | (月額) | (日額) | 単身赴任手当 | 手当(1) | 手当(2) | 休日勤務手当 |
| | 27,000 | | | | | 3,200 | | 39,750 | | | | |
| | | | 管理職員特別 | 期末·勤勉 | | | | | | 共済組合 | 退職等年金 | |
| | 夜間勤務手当 | 宿日直手当 | 勤務手当 | 手当 | 寒冷地手当 | | | 総支給額 | 短期掛金 | 厚生年金 | 掛金 | 介護掛金 |
| | | | | | | | | 338,094 | | | | |

| | | | | | | 給料 | | | | 初任給調整 | | |
|---------|--------|--------|--------|----------|--------|---------|--------|---------|--------|-------|-------|--------|
| 支給月 | 職員コード | 氏名(漢字) | 高舘 マスオ | | (含調整額) | 教職調整額 | 地域手当 | 管理職手当 | 手当 | 扶養手当 | 通勤手当 | |
| 2016-06 | | 氏名(カナ) | タナ | タカダテ マスオ | | 249,000 | 9,960 | 3,884 | | | | 5,300 |
| ' | | 特地勤務手当 | | 農林漁業 | 定時制通信 | 義務教育等 | 特殊勤務手当 | 特殊勤務手当 | | 時間外勤務 | 時間外勤務 | |
| | 住居手当 | へき地手当 | 産業教育手当 | 普及指導手当 | 教育手当 | 教員特別手当 | (月額) | (日額) | 単身赴任手当 | 手当(1) | 手当(2) | 休日勤務手当 |
| | 27,000 | | | | | 3,200 | | 37,250 | | | | |
| | | | 管理職員特別 | 期末·勤勉 | | | | | | 共済組合 | 退職等年金 | |
| | 夜間勤務手当 | 宿日直手当 | 勤務手当 | 手当 | 寒冷地手当 | | | 総支給額 | 短期掛金 | 厚生年金 | 掛金 | 介護掛金 |
| | · | | | | | | · | 335,594 | | | · | |

| 3 | 固定的給与 |
|---|--------|
| | 非固定的給与 |

左ページの給与明細では分かりにくいので、表にしてみます。

| | 項目 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | | |
|---|----------|---------|---------|---------|--|--|
| | 給料(含調整額) | 249,000 | 249,000 | 249,000 | | |
| | 教職調整額 | 9,960 | 9,960 | 9,960 | | |
| | 地域手当 | 3,884 | 3,884 | 3,884 | | |
| 固 | 管理職手当 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 扶養手当 | 0 | 0 | 0 | | |
| 定 | 通勤手当 | 5,300 | 5,300 | 5,300 | | |
| | 住居手当 | 27,000 | 27,000 | 27,000 | | |
| | 義務特手当 | 3,200 | 3,200 | 3,200 | | |
| | 単身赴任手当 | 0 | 0 | 0 | | |
| 非 | 特殊業務手当 | 18,000 | 39,750 | 37,250 | | |
| 固 | 時間外勤務手当 | 0 | 0 | 0 | | |
| 定 | 寒冷地手当 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合 計 | 316,344 | 338,094 | 335,594 | | |
| | 4~6月の合計 | 990,032 | | | | |

報酬月額 標準報酬月額 ÷3 = 330,010 → 340,000

円未満の端数切捨

- 通勤手当については複数月分がまとめて支払われる場合は、1月あたりの額を算定してそれぞれの月に加算します。
- ・ 寒冷地手当は、1年間(前年7月~当年6月)に受けた総額の12分の1の額をそれぞれの月に加算します。
- 期末手当・勤勉手当については、報酬に含まれませんが、「標準期末手当等」の算定の基礎となります。
- 支払基礎日数とは、報酬計算の対象となる日数です。その月の暦日数から、週休日・欠勤等(育児休業等)の日数を除いた日数となります。祝日や年末年始の休日は、支払基礎日数に含めます。

「随時改定」について (随時改定については、申し出の必要はありません。)

昇給・昇格や異動などにより、報酬の額が著しく増減した場合は、実際に受けている報酬と標準報酬月額との差が 大きくなります。この差を解消するために、標準報酬月額を改定します。この決定を「随時改定」といいます。

随時改定を行う条件

随時改定は、次の2つの条件を満たした時に実施されます。

条件1 昇給などにより前月に対し当月の固定的給与に変動があること。

条件2 既に決定または改定されている標準報酬月額の等級と、変動月以降3ヶ月間の報酬の平均額で 算出した標準報酬月額の等級との差が2等級以上あること。

- 休職等による一時的な固定的給与の変動は随時改定の対象となりません。
- 月の途中で変動があった場合は、翌月が変動月となります。
- ・ 変動月以降の継続した3ヶ月における支払基礎日数がすべて17日以上であることが必要です。

たとえば・・4月の人事異動により支援学校から小学校へ異動。通勤距離が50kmから2km未満になり、通常学級の担任。 といった場合、4・5・6月の3ヶ月の報酬の平均を求め、7月から随時改定されます。

事務職員の場合, 3月~5月の時間外勤務が多く, 4·5·6月の時間外手当が増えた場合は, 非固定的給与の変動による変動によるものなので, 随時改定の対象とはなりません。が, この事務職員が4月に転居し, 通勤手当が1, 900円増額(自家用車2. 1km→5. 5km)となった場合には, 固定的給与よりも非固定的給与の増が大きい状態ですが, 要件を満たすため, 随時改定の対象となります。

「育児休業等終了時改定」について

育児休業等を終了した後, 育児部分休業や育児短時間勤務などの取得により報酬が低下した場合など, 復帰後に受け取る報酬の月額と標準報酬月額がかけ離れた額になることがあります。 このような場合, 育児休業等を終了した時に申出をすることにより, 標準報酬を改定できます。

この改定を「育児休業等終了時改定」といいます。

育児休業等終了時改定を行う条件

随時改定は、次の2つの条件を満たした時に実施されます。

条件1 育児休業等を終了した日において、当該育児休業等に係る3歳未満の子を養育する方

条件2 共済組合に申出をした方

育児休業等終了時改定の特徴

基礎期間 育児休業終了日の翌日が属する月以降3ヶ月間

17日未満の月 支払基礎日数が17日未満の月を除く 等級の変動 2等級以上の差が生じない場合でも改定

改定月 育児休業等終了日の翌日が属する月から4ケ月目

(事例)

6月10日終了 6・7・8月の平均額により9月からの標準報酬月額が決定 6月30日終了 7・8・9月の平均額により10月からの標準報酬月額が決定

1月~6月の改定 その年の8月まで適用 7月~12月の改定 翌年の8月まで適用

みどりさんの場合で、計算してみましょう

平成31年4月1日に復帰したみどりさんは、毎日 朝1時間 帰り1時間の部分休業を取得することにしました。

給料 教(二)2-36 (実際は復職時に昇給があると思われます)

| | 4 月 |
|----------|---------|
| 給料(含調整額) | 238,200 |
| 教職調整額 | 9,528 |
| 地域手当 | 3,715 |
| 通勤手当 | 4,300 |
| 住居手当 | 0 |
| 義務特手当 | 3,000 |
| | 258,743 |

復帰時の報酬月額は250,000円 第15級です。 4月は減額なしの金額が支給されます

みどりさんの1時間当たりの給与単価を算出してみましょう。給与テキストP21参照

[給料の月額(給料の調整額を含む。以下同じ。)+給料の月額に対する地域手当]×12

1週間当たりの勤務時間×12 (→ 7:45×5×52=2015)

• 銭位未満切り捨て

[238, 200+(238, 200×1.5%)]×12÷2015=1, 439, 839 →1, 439, 83 給与個人票で確認。

減額する場合の1時間当たりの給与額

・ 50銭未満の端数 切り捨て 50銭以上1円未満の端数 1円に切り上げる

1, 439. 83円 → 1, 440円

勤務しなかった時間数は、その給与期間(月の1日から末日まで)の全時間数によって計算。 1時間未満の端数は30分以上の時は1時間とし、30分未満の端数は切り捨てる。

→ 例月報告で、月ごとに減ずる時間をまとめて報告します。 例)減ずる時間が32時間30分となった場合は、33時間と報告します。翌月の給与から減額されます。

| H3 ⁻ | 1.4 | 月 | 取消4時間 | | | | | | |
|-----------------|--------------|----|-------|----|----|-----|--|--|--|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | | | |
| 14) | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | | |
| 21) | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27) | | | |
| 28 | 29 | 30 | | | | | | | |
| | 21×2−4=38時間減 | | | | | | | | |

| $1.440 \times 38 = 54.720$ | 円減額 | |
|----------------------------|-----|--|
|----------------------------|-----|--|

| H3 ⁻ | 1. 5 | <u>月</u> | 取消5時間 | | | | | |
|-----------------|--------------------------|----------|-------|----|----------|-----|--|--|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | ± | | |
| | | | 1 | 2 | <u> </u> | 4 | | |
| ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11) | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | |
| 26 | 26 27 28 29 30 31 | | | | | | | |
| | 21 × | 2-5 | =3 | 7時 | 間減 | | | |

1.440×37=53.280円減額

| H3 ⁻ | 1. 6 | <u>月</u> | 取消8時間 | | | | | | | |
|-----------------|------|--------------|-------|----|----|----|--|--|--|--|
| Ш | 月 | 火 | 水 | + | 金 | H | | | | |
| | | | | | | 1 | | | | |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | | |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | | | |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | | | |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | | | |
| 30 | 20 | 20×2-8=32時間減 | | | | | | | | |

1.440×32=46.080円減額

復帰後3ヶ月の報酬額は

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 合 計 |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 給料(含調整額) | 238,200 | 183,480 | 184,920 | 606,600 |
| 教職調整額 | 9,528 | 9,528 | 9,528 | 28,584 |
| 地域手当 | 3,715 | 3,715 | 3,715 | 11,145 |
| 通勤手当 | 4,300 | 4,300 | 4,300 | 12,900 |
| 住居手当 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 義務特手当 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 3,000 |
| | 258,743 | 204,023 | 205,463 | 662,229 |

報酬月額 標準報酬月額 ÷3= 220,743 → 220,000

円未満の端数切捨

14級

標準報酬月額が1等級下がりました。

申出をすることで、育児休業等終了時時改定が7月から受けられます。

今回の事例は、4月1日復帰の場合です。申出をしない場合は、定時改定4月から6月の報酬月額をもとに、 9月から定時改定となります。

【提出書類】

- 標準報酬育児休業等終了時改定申出書
- ※ この申出を行うことにより、育児休業等終了時改定が行われます。 復帰時、昇給等があり、報酬が増えた場合には、等級が上がることもあります。

「産前産後休業終了時改定」について

育児休業等終了時改定を行う条件

随時改定は、次の2つの条件を満たした時に実施されます。

条件1 産前産後休業を終了した日において、当該産前産後休業に係る子を養育する方

(産前産後休業を終了した日の翌日に育児休業を開始している方を除く)

条件2 共済組合に申出をした方

【提出書類】

• 標準報酬産前産後休業終了時改定申出書

3歳未満の子を養育する期間の標準報酬の特例について(養育特例)

3歳未満の子を養育している期間において、育児部分休業や育児短時間勤務の取得等により標準報酬が低下したとき、年金額(厚生年金と退職等共済年金給付が対象です)の計算に使用する標準報酬に関する特例の適用を受けることができます。

養育特例を受けるためには、共済組合に申出を行うことが必要です。

条件1 3歳未満の子を養育する方

条件2 共済組合に申出をした方

特例の対象期間の始まる月より後に申出をした場合、申出日から遡って2年以内の期間が対象となります

• 育児休業·育児短時間勤務·部分休業の取得の有無にかかわらず、3歳未満の子を養育し、子の 出生前の標準報酬よりも、報酬額が下がった場合に、適用されます。

【提出書類】

・ 3歳未満の子を養育する旨の申出書

添付書類 戸籍謄(抄)本 申出者と子の身分関係及び子の生年月日を証明できるもの

住民票 申出者と子が同居していることを確認出来るもの

※ 提出日から遡って90日以内に発行されたもの

※ 養育の特例を開始した日に同居が確認出来るもの

【注意事項】

次のいずれかに該当したときに、特例は終了します。(詳しくは、3歳未満の子を養育する旨の申出書の裏面参照)

- この申出に係る子が死亡したとき、または養育しなくなったとき
- 掛金等の特例(免除)を受ける産前産後休業を開始したとき
- 掛金等の特例(免除)を受ける育児休業等を開始したとき

以上に該当したときは、速やかに 3歳未満の子を養育しない旨の申出書 を提出してください。

2 モデルケース1【本人編】

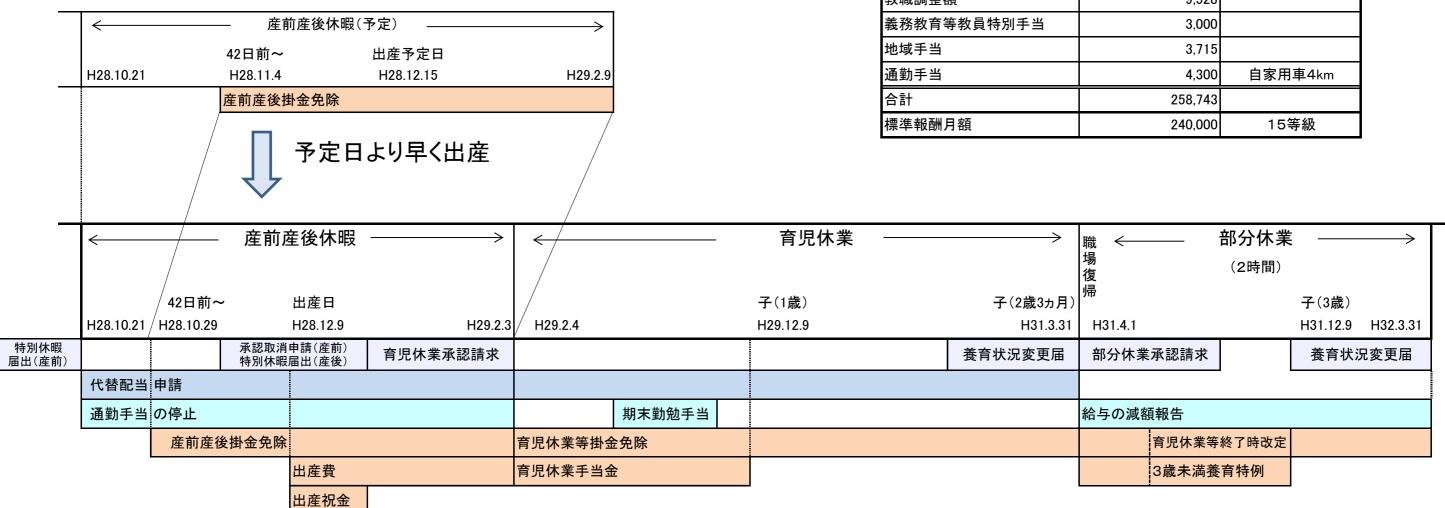




☆ モデルケース 1 (本人編)

名取小学校に勤務する教諭の高舘みどりさんは、出産予定日 (H28.12.15) より早い H28.12.9に第1子を出産しました。

産休取得後,第1子が2歳3ヵ月になるH31.3.31まで育児休業を取得しました。 H31.4.1より職場復帰し、1日2時間の育児部分休業をH32.3.31までの1年間取得予定 です。



| | 秋(一/2 20 秋 明 | |
|-------------|-------------------------|---------|
| 手当等 | 支給額 | 備 考 |
| 給料 | 228,100 | |
| 教職調整額 | 9,124 | |
| 義務教育等教員特別手当 | 2,900 | |
| 地域手当 | 3,558 | |
| 通勤手当 | 4,300 | 自家用車4km |
| 合計 | 247,982 | |
| 標準報酬月額 | 240,000 | 15等級 |



【H29.1.1の基礎データ】 教(二)2-32 教諭 高舘 みどり

| 1.120111100至此, 71 次(二 | | |
|-----------------------|---------|---------|
| 手当等 | 支給額 | 備 考 |
| 給料 | 238,200 | |
| 教職調整額 | 9,528 | |
| 義務教育等教員特別手当 | 3,000 | |
| 地域手当 | 3,715 | |
| 通勤手当 | 4,300 | 自家用車4km |
| 合計 | 258,743 | |
| 標準報酬月額 | 240,000 | 15等級 |

く高舘みどりさんの出産・育児に伴う手続きについて ①>

モデルケース1では・・・

- ① 予定日前に出産
- ② 産休中に夫が育休を取得
- ③ 職場復帰後, 部分休業を取得します。

☆ モデルケース 1

| | | 産前産後休暇 | \longrightarrow | | | 育児休業 | \longrightarrow | 職 ← | 部分休業 | \longrightarrow |
|---|-------------|----------|-------------------|-------------|----------|------|-------------------|-----------|------|-------------------|
| 妻 | | 出産日 | | | 子(1歳) | | 子(2歳3ヵ月) | 场 復 | | |
| | H28.10.21 | H28.12.9 | H29.2.3 | H29.2.4 | H29.12.9 | | H31.3.31 | 帰 H31.4.1 | | H32.3.31 |

夫:育児休業 H28.12.23~H29.1.9

| | | | | 給 与 | | | | |
|-----------|----------------------|------------|---------|---------|-------|--------------------|------|------|
| モデルク | 「一ス 1 | 服 務 | 諸 | 手 当 | 税 金 | 共 済 | 互助会 | 児童手当 |
| | | | 本人 手続き | 夫 手続き | 夫 手続き | | | |
| 妊娠 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 産前休暇 | (H28.10.21~H28.12.9) | | 通勤手当停止 | | | 産休掛金免除 | | |
| | | 代替配当申請 | | | | | | |
| 出産予定日 | (H28.12.15) | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 出産日 | (H28.12.9) | | | 子の扶養手当 | 住民税控除 | 出産費 | 出産祝金 | 認定請求 |
| | | | | | | 乳幼児医療費助成制度該当/非該当報告 | | |
| 産後休暇 | (H28.12.10~H29.2.3) | 特別休暇(産後休暇) | | | | 産休掛金免除変更 | | |
| | | | | | | | | |
| 育児休業【本人】 | (H29.2.4~H31.3.31) | 育児休業承認請求 | 期末勤勉手当 | | 所得税控除 | 育児休業手当金 | | |
| | | | | | | 育休掛金免除 | | |
| 育児休業【夫】 | (H28.12.23~H29.1.9) | 育児休業承認請求 | | | | 育児休業手当金 | | |
| | | 養育状況変更届 | | | | 育休掛金免除 | | |
| 子 1歳 | (H29.12.9) | | | 妻の扶養手当 | | 育児休業手当金 終了 | | |
| | | | | | | | | |
| 職場復帰 | (H31.4.1) | 養育状況変更届 | | 妻の扶養手当の | | | | |
| (子 2歳3ヵ月) | | | | 認定取消 | | | | |
| 育児部分休業 | (H31.4.1~H32.3.31) | 部分休業承認請求書 | 給与の減額報告 | | | 標準報酬育児休業等終了時改定 | | |
| | | 部分休業承認報告書 | | | | 3歳未満の養育特例 | | |

出産に係る事務(本人編)

特別休暇関係 市町村によっては教育委員会決裁

産前

特別休暇(産前休暇)の届出 出産予定日の確認出来る書類添付

産後(出産日が確定したら) 母子手帳の写し等添付

特別休暇(産前休暇)の取消 (予定日より早く生まれた場合)

特別休暇(産前休暇)の延長届出(予定日より遅く生まれた場合)

特別休暇(産後休暇)の届出

育児休業関係

育児休業を始めようとする日の1月前までに市町村教委を経由して県教委へ提出

【提出書類】育児休業承認申請書

【添付書類】母子手帳の写し等(子の氏名・生年月日・子との続柄を証明する書類)

給与関係

【提出書類】通勤手当停止 月の1日から末日まで全日出勤しない月 月の1日から末日まで育児休業の場合は提出不要

講師関係

【提出書類】代替配当申請書(産前産後休暇・延長・育児休業) 任用が決まったら、諸手当修正報告 産休引継ぎ旅費の請求 等

共済組合関係

産前産後掛金免除申出書

産前【提出書類】産前産後掛金免除申出書

特別休暇簿の写し 出産予定日の確認出来る書類

産後【提出書類】産前産後掛金免除変更申出書

特別休暇簿の写し 母子手帳の写し等(出産日の確認出来る書類)

予定日どおりに出産した場合は、変更申出書の提出は不要。

出産日が確定してから 産前産後掛金免除申出書を提出してもよい。

育児休業掛金免除申出書

【提出書類】育児休業掛金免除申出書

【添付書類】育児休業の辞令の写し 母子手帳の写し等(出産日の確認出来る書類)

出産費請求

【提出書類】出産費請求書等 利用する支払い制度により異なる

育児休業手当金の請求

【提出書類】育児休業手当金請求書

【添付書類】育児休業辞令の写し(初回と育児休業期間に変更のあった時)

互助会関係

出産祝金請求

【提出書類】出産祝金請求書 25,000円

掛金関係

産前産後休暇中は免除にならない。

育児休業期間のうち、月の初日から末日まで勤務しない月は免除となる。 (申出の必要はない)

復帰するとき

【提出書類】養育状況変更届 (復帰1ヶ月前頃までに)

育児休業 (部分休業) について

部分休業を始めようとする日の1月前までに市町村教委へ提出

【提出書類】部分休業承認請求書

部分休業を終了するとき

【提出書類】養育状況変更届

産前産後休業期間中の共済掛金免除について

産前産後休業(※)を開始した日の属する月からその産前産後休業が終了する日の翌日 の属する月の前月までの期間に係る掛金が免除となります。

※「産前産後休業」とは

出産の日(出産の日が出産の予定日後であるときは、出産の予定日)以前42日から出産の日後56日までの間で、妊娠又は出産に関する事由を理由として勤務に服さない期間 (特別休暇の産前産後休業とされた期間)をいいます。

ただし、多児妊娠の場合は、「42日」を「98日」と読み替えます。

出産の日が出産予定日より後の場合は、出産予定日以前42日から出産の日後56日までの間となります。

多胎妊娠の場合は、出産の日以前98日から出産の日後56日までの間となります。

条例等により、56日(8週間)の産前休暇が付与されている等の場合において、上記期間より長い産前産後休暇を取得したときでも、掛金免除の対象となる期間は、出産の日以前42日から出産の日後56日までの間となります。

休業期間中に掛金免除を受けるためには、申出(書類の提出)が必要です。 掛金は、月ごとに計算されます。

基本的な形

条例上の

| 産前休暇 | 開始 掛金 | 免除開始 出產 | Ĕ日 産後(| 木暇終了 |
|------|-----------|-----------|--------|-------------|
| | | | | |
| | | 56日 | | |
| | | 42日 | 56日 | |
| 勤務 | 条例上の産 | E前産後休暇(実) | 祭のお休み) | 育児休業 |
| 掛金征 | 敦収 | 産前産後休暇に | より掛金免除 | 育児休業により掛金免除 |

モデルケースの場合(出産予定日の時)

産前産後休業掛金免除申出書 提出

【添付書類】特別休暇簿の写し、出産予定日の分かる書類

| 条例上の | | | | | | |
|-------|---------|--------|-------|-------|--------|-------------|
| 産前休暇閉 | 射始 掛金領 | 免除開始 出 | 出産予定 | 2日 | 産後休暇約 | 冬了 |
| 28/10 | /21 11 | /4 | 12/15 | i | 29/2/9 | |
| | | | | | | |
| | | 56日 | | | | |
| | | 42日 | | 56日 | | |
| 勤務 | 条例上の産 | 全前産後休日 | 段(実際 | 祭のお休み | ۲) | 育児休業 |
| 掛金 | | 産前産後体 | ・眼に | より掛金免 | ,除 | 育児休業により掛金免除 |

A產前休暇 H28. 10. 21~

B掛金免除開始 11/4からなので11月分から

©産後休暇終了 H29.2.9まで

産前産後休業に係る掛金免除期間:11月~1月

育児休業に係る免除期間 : 2月~

モデルケースの場合 (出産後に変更)

産前産後休業掛金免除変更申出書 提出

【添付書類】特別休暇簿の写し、母子手帳の写し(出産日及び出産人数のわかるもの)

条例上の

| 産前休暇[28/10 | | 色除開始 出産日 /29 12/9 | | 産後休暇約 29/2/3 | 冬了 |
|----------------|-------|----------------------|-----|-----------------|-------------|
| | | | | | |
| | , | 56日 | | | |
| | | 42日 | 5 | 56日 | |
| 勤務 | 条例上の産 | 室前産後休暇(| 実際 | のお休み) | 育児休業 |
| 掛金 | 徴収 | 産前産後休暇 | よこほ | :り掛金免除 | 育児休業により掛金免除 |

出産が 12/15 から 12/9 に早まったための変更

A產前休暇 H 2 8. 1 0. 2 1~ (特に変更なし)

10/29からなので10月分からに変更 B掛金免除開始

H29.2.3までに変更 ②産後休暇終了

産前産後休業に係る掛金免除期間:10月~1月

育児休業に係る免除期間 : 2月~

出産費・家族出産費、出産費附加金・家族出産費附加金について

組合員の方や被扶養者の方が出産したときに、出産に伴う経済的負担を補うために出産費(被扶養者の方の場合は家族出産費)と出産費附加金(被扶養者の方の場合は家族出産費附加金)が給付されます。

また、1年以上組合員であった方が退職後6月以内に出産したときにも出産費は給付されます。(出産費附加金は給付なし)ただし、退職後、他の医療保険者から同様の給付を受ける場合は、給付されません。

<給付額>

- 〇出産費・家族出産費 定額42万円 ※産科医療補償制度に加入していない病院などで出産した場合は40万4千円
- 〇附加金 定額 5万円

<給付方法>

- ① 出産にかかった費用を全額病院などに支払い、後から共済組合に申請をして出産費を受け取る方法
- ② 組合員が出産費の請求・受け取りを病院などに委任することにより、共済組合が出産費を直接病院などに支払う方法(直接支払制度)
- ③ 組合員が病院などを受取代理人とすることをあらかじめ共済組合へ申請することにより、共済組合が出産費を病院などに支払う方法(受取代理制度)

◎直接支払制度を利用しない場合

提出書類

□出産費・家族出産費請求書

添付書類

- ■出産費に関する証明 (請求書に項目欄あり)
- ■合意文書の写し(出産される方と医療機関が取り交わす文書)
- ■産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩であることを証明する印が押されたもの

■辞退申出書

(被扶養者が認定後6月以内に出産する場合、他の健康保険等の規定による被保険者本人として分娩費の受給権を放棄する証明)

◎直接支払制度を利用する場合

提出書類

□出産費等内払金支払依頼書

添付書類

- ■出産費用明細書の写し
- ■合意文書の写し(出産される方と医療機関が取り交わす文書)
- ■産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩であることを証明する印が押されたもの
- ※添付書類がなくても可。ただし給付が遅れることがあります。

◎受理代理制度を利用する場合

提出書類

□出産費及び家族出産費請求書(受理代理用)

添付書類

■出産予定日のわかる書類(母子健康手帳の写し等)

約90%の病院で、直接支払制度が利用されているようです。

受取代理制度を利用している場合は,事前に病院から書類を渡されることがあります。

育児休業について

子が満3歳に達する日まで取得可能。男女を問わず、育児休業をすることができる

請求手続 育児休業承認請求書(様式第1号)に出生証明書等を添付して、育児休業 を始めようとする1ヶ月前までに市町村教委を経由して県教委に提出

延 長 子が3歳に達する日まで延長できる。ただし、期間の延長は特別の事情がある場合を除き、1回に限る

特別の事情とは(期間の再度の延長)

・配偶者が負傷又は疾病により入院したこと 等職員の育児休業等に関する条例第四条 参照

再度の 育児休業は、同一の子について原則1回。

育児休業 当初の育児休業を請求する際に、「育児休業等計画書」(様式第1号の2) を提出した場合は、三月以上の期間を経過していれば、再度の育児休業を取得することができる

育児休業等計画書を提出していない場合は、特別の事情がある場合を除き、 再度の育児休業をすることはできない

特別の事情とは(再度の育児休業)

・次子の産前休暇を届け出たことや次子についての育児休業が承認されたことにより、当初の育児休業の承認が失効となったあと、次子が死亡又は養子縁組などにより職員と別居することとなった場合 等職員の育児休業等に関する条例第三条 参照

夫が、子の出生の日から57日の期間内に、最初の育児休業を取得した場合は、特別の事情がなくても、その後に育児休業をすることができる

その他 変更及び終了するときは、養育状況変更届 (様式第3号) を提出

給 料 育児休業中は無給

期末勤勉手当については、基準日に育児休業であっても、基準日前6ヶ月の期間のおいて、勤務した実績がある場合には、その勤務した期間に応じて支給される

産前産後休暇の期間の取扱

期末手当: 勤務した期間として算定する

勤勉手当: 勤務した期間として算定しない

昇 給 平成29年1月1日から改正 勤務していない期間として取り扱わない

共済掛金 申出をすることにより育児休業を開始した月から育児休業を終了する日の翌 日の属する月の前月までの期間について免除される

育児休業手当金について

〈給付額〉

育児休業開始から180日に達するまでの間、勤務しなかった期間1日につき標準報酬日額(*標準報酬月額の22分の1の額)の67%。それ以降は50%

標準報酬月額÷22=標準報酬日額(10円未満四捨五入)

67% 標準報酬日額×67/100=給付日額(1円未満切捨て)

50% 標準報酬日額×50/100=給付日額(1円未満切捨て)

給付上限額があり、 67% 50% 平成28年8月1日~平成29年7月31日 12,927円 9,647円 平成29年8月1日~ 13,622円 10,105円

(平成29年8月1日~の給付上限額は第25級 470.000円)

180日までとは?

67%の育児休業給付手当金が180日分給付されるわけではなく、育児休業を開始 してから180日目までが、67%の給付を受けられる

〈給付期間〉

原則 1歳に達する日まで(パパママ育休プラスの場合 1歳2ヶ月に達する日まで) 特別な事情に該当する場合

対象となる子が1歳に達する時点で、保育所へ入所できない等に該当する場合 1歳6ヶ月に達する日まで 対象となる子が1歳6ヶ月に達する時点で、保育所へ入所できない等に該当する場合 2歳に達する日まで (2歳に達するまで は平成29年10月1日以降に1歳6ヶ月に達する子から対象)

育児休業(部分休業)について

小学校の始期に達するまでの子のある職員 正規の勤務時間の始め又は終わりについて、1日を通じて2時間取得可能 (子が1歳6ヶ月に達しない場合で、特別休暇の育児時間を承認されている場合は、 2時間から当該時間を減じた時間)

請求手続 部分休業承認請求書(母子手帳の出生届出済証明書の写しなどを添付) 休業を始めようとする1ヶ月前までに市町村教委に提出。 部分休業が必要な期間についてできるだけ包括的に請求する。 (名取市では年度毎に請求となっている) 市町村教委から承認(不承認)通知書が届く(辞令なし)

取 消 職員からの請求に基づき取り消しができる。

始業時 部分休業に引き続き年休や 終業時 年休に引き続き部分休業 という取り方はできないため、年休のため部分休業の取り消しとなる。 (子の通院等による特休を取得した場合も同様で、特休が優先)

その都度,部分休業承認請求書裏面 (コピー) に取消となった日時を記入・押印し、決裁を受ける。

(月ごとに記入すると、集計がしやすい)

勤務時間 休憩時間の変更

部分休業が8:10~9:10と15:40~16:40の2時間 職員の休憩時間が分割で13:40~14:00と15:45~16:10となっている 場合には、部分休業の時間と重ならないよう変更する。

報 告 事務所へ:給料減額報告書 K 6 1 を例月報告として提出 部分休業承認請求書の裏面(取消)のコピー等を添付 添付書類(初回のみ)部分休業承認請求書の写し 市町村教委からの承認通知書の写し

> 市教委へ:部分休業承認報告書を例月報告として提出 部分休業承認請求書の裏面(取消)のコピーを添付(名取市)

その他 変更及び終了するときは、養育状況変更届 (様式第3号) を市町村教委へ提出

給料 部分休業を取得した時間は、1時間につき1時間あたりの給与額を減額 当月分を累計して翌月の給与から減額する。

(まとめた時間数に30分の端数が生じた場合は、1時間に切り上げ)

期末手当 減額されない

勤勉手当 平成29年1月1日から改正

基準日以前の6ヶ月以内の期間において、部分休業の承認を受けて勤務しなかった期間が30日を超える場合には、その勤務しなかった全期間を除算

30日×7時間45分=232時間30分

基準日前6ヶ月以内の期間において、週休日・休日を除いた日数は、 およそ126日(月21日×6ヶ月)です。

毎日部分休業の取消をしなかった場合、2時間×126日=252時間となりますので、除算対象となる。

例) 252 時間÷7 時間 45 分=32 日と 16/31・・1 月 2 日と 16/31 6 月-1 月 2 日と 16/31=4 月 27 日と 15/31 4 月 27 日と 15/31 が勤務期間となり、成績率は 80/100

毎月4時間取消をすると、4時間×6ヶ月=24時間となり、 252時間-24時間=228時間 < 232時間 ですので、 勤勉手当の除算は0となる

昇 給 勤務していない期間として取り扱わない

共済掛金 要件を満たせば、育児休業等終了時改定や3歳未満の養育特例をうけることができる(申出が必要)

互助会 掛金の免除なし

3 モデルケース 1 【夫編】



☆ モデルケース 1 (夫 編)

高舘みどりさんの夫である高舘マスオさんも学校職員です。

モデルケース1の場合、マスオさんの学校では、どのような手続が必要になるでしょうか?また、マスオさんは第1子の誕生に伴い、H28.12.23~H29.1.9まで育児休業を取得しました。 夫が育児休業を取得した場合の事務手続についても、確認していきましょう。

| 妻 | < | 産前産後休暇 | | | | ←────── 育児休業 ────── | | | | 部分休業 - | → |
|---|-----------|-----------------------|---------|---------------|---------|----------------------|----------|-------------|-----------|--------|----------|
| | | 出産日 | | | | | 子(1歳) | 子(2歳3ヵ月 | 帰) | | |
| | H28.10.21 | H28.12.9 | | | H29.2.3 | H29.2.4 | H29.12.9 | H31.3.3 | 1 H31.4.1 | | H32.3.31 |
| | | | 夫 | :育児休業 | | | | | | | |
| | | | H28.1 | 12.23~H29.1.9 | | | | | | | |
| | | 育児休業承認請求 | रे | 養育状況変更届 | | | | | | | |
| | | 子の扶養手当申請(1月分は日割にて支給(育 | | | 支給(育休 | 終了後の1/10~31分), 2月分より | 満額支給) | | | | |
| | | | H29.1.1 | | | | 妻の扶養手当 | | | | |
| | | | 所得税 | 配偶者控除 | | | | | | | |
| | | | 育児休 | 業等掛金免除 | | | | | | | |
| | | | 育児休 | 業手当金 | | | | | | | |
| | | 乳幼児医療費助成申告書 | | | | | | | | | |
| | | 児童手当 | | | | | | | | | |

出産に係る事務(夫編)

特別休暇

第16号(配偶者出産補助休暇) 2日 特別休暇簿に記入して申請

第17号(育児参加休暇) 5日

育児休業関係

育児休業を始めようとする日の1月前までに市町村教委を経由して県教委へ提出

【提出書類】育児休業承認申請書(請求に係る子の欄は空欄で提出)

【添付書類】出産予定日が分かる書類

出生届を提出したら、速やかに・・

【提出書類】育児休業承認申請書(請求に係る子の欄を記入したもの)

【添付書類】母子手帳の写し等(子の氏名・生年月日・子との続柄を証明する書類)

育児休業の期間が短いので・・

【提出書類】養育状況変更届

給与関係

本人の給与

育児休業の辞令が出る。通勤手当の停止なし。

(12月分の給与支給日に満額出てしまう可能性もあります。後日返納(特例不要))

子の出生 扶養控除 (異動) 申告書 16才未満の扶養親族記入

【提出書類】K05配偶者の有無及び所得税扶養控除等修正報告書提出

扶養手当申請

【提出書類】扶養手当修正報告書

【添付書類】母子手帳の写し等

配偶者が子の扶養手当を受給していないことの申立書

年末調整関係

【提出書類】再年末調整Bカード

K05配偶者の有無及び所得税扶養控除等修正報告書提出

所得税 (住民税) 関係

扶養控除(異動)申告書 16才未満の扶養親族記入

個人番号通知カードが届いたら、マイナンバーの記入

児童手当関係

【提出書類】児童手当・特例給付認定請求書

(児童手当を既に受給しているときは額改定認定請求書)

【添付書類】世帯全員の住民票 (続柄省略しないもの)

所得証明書 夫・妻の分(額改定の場合は不要)

後日・・扶養親族修正通知書の写し

出生した子の個人番号(マイナンバー)申出書

共済組合扶養認定

【提出書類】被扶養者申告書

【添付書類】扶養親族修正報告書の写しとその添付書類の写し 後日・・個人番号(マイナンバー)記入様式

乳幼児医療助成申告 確認 (子どもが出生後 1ヶ月後位に確認をしましょう)

居住している市町村の「乳幼児・子ども医療助成制度」の申請をしたか

「受給者証」の交付を受けたか確認

「受給者証」の交付を受けたのは宮城県内の市町村か確認

すべて当てはまれば、提出書類はなし

【提出書類】県内・県外→乳幼児・子ども医療助成申告書(非該当)

県外 →乳幼児・子ども医療助成申告書(該当)受給者証写し添付

講師関係

1ヶ月未満の育児休暇のため代替配当なし

共済組合関係

育児休業掛金免除申出書

【提出書類】育児休業掛金免除申出書

【添付書類】育児休業の辞令の写し 母子手帳の写し等(出産日の確認出来る書類)

育児休業手当金の請求(12月・1月分)

【提出書類】育児休業手当金請求書

【添付書類】育児休業辞令の写し

互助会関係

出産祝金請求

【提出書類】出産祝金請求書 25,000円

掛金関係 今回は、月の初日から末日まで勤務しない月がないので、免除とならない。

男性職員の育児休業について

男性職員も女性職員同様,子どもが3歳に達する日まで育児休業を取得することが出来ます。パパママ同時の取得も可能です。

マスオさんは、子どもの出生予定日(12月15日)後の年末年始(12月23日~1月9日)に育児休業を取得しようと考えています。

育児休業承認請求書の提出は育児休業を始めようとする日の1ヶ月前までとなっているので、11月中旬までに、請求期間欄を記入した育児休業承認請求書を提出します。

子どもが生まれ、出生届を提出したら、請求に係る子欄の記入及び証明書類を添付して、 再度、育児休業承認請求書を提出します。

なお、今回のように短期間の育児休業の場合、出生後の育児休業承認請求書の提出とほぼ 同時に、養育状況変更届も提出することとなります。

給与

育児休業中は無給。平成28年12月分と平成29年1月分は日割計算となります。 期末手当・勤勉手当(平成29年6月支給分)

期末手当 1ヶ月以下の育児休業は除算されない

勤勉手当 1ヶ月以下の育児休業は除算されない (平成28年4月~)

共済組合

育児休業掛金免除申出書を提出することにより、平成28年12月の給与と期末勤勉手 当に対する掛金は免除となります。

育児休業手当金が支給されます。

万助会

育児休業中、月の初日から末日まで勤務しない月は免除となります。

今回の事例では、掛金免除になりません。

パパママ育休プラスについて

育児休業の取得は、原則として連続した1回の取得となっていますが、今回の例のように産後57日以内に男性職員が育児休業を取得した場合は、理由を問わず再度の育児休業の取得が可能です。

配偶者が子どもの1歳の誕生日の前日までに育児休業を取得している場合、子どもが1歳2ヶ月になるまでの間に最大1年の育児休業手当金が給付されます。

詳しくは、公立学校共済組合宮城支部のホームページ

手続きナビ>短期給付の手続き。休業給付の手続き育児休業手当金の手続き 内の、パパ・ママ育休プラスに係る育児休業手当金の支給パターン をご覧ください。

マスオさんがもらえるお金を計算してみましょう。 (12月23日から1月9日 育児休業) 標準報酬月額 340,000

| | 010,000 | 2-36 | 2 - 40 | | | | | |
|----------------------------|-----------------|-----------------|----------------|----|-----------------------------|---------------|------|-----------|
| 育児休業なし | | H28.12 | 2-40 H29.1 | | H28.12 | 期末勤勉 | | |
| 給料 | | 249,000 | 258,900 | | 給料 | 249,000 | | |
| 教職調整額 | | 9,960 | 10,356 | | 教職調整額 | 9,960 | | |
| 地域手当 | | 3,884 | 4,136 | | 地域手当 | 3,884 | | |
| 扶養手当 | | 0 | 6,500 | | 基礎額 | 262,844 | | |
| 通勤手当 | | 5,300 | 5,300 | | 期末 1.375 | 361,410 | | |
| 住居手当 | | 27,000 | 27,000 | | 勤勉 0.9 | 236,559 | | |
| 義務特手当 | | 3,200 | 3,300 | | 総支給額 | 597,969 | | |
| 特殊業務手当 | | 0 | 0 | | 標準期末手当 | 597,000 | | |
| 総支給額 | | 298,344 | 315,492 | | | \downarrow | | |
| 短期掛金 | 44.51 | 15,133 | 15,133 | | 短期掛金 | 26,572 | | |
| 共済組合厚生年金 | 88.16 | 29,974 | 29,974 | | 共済組合厚生年金 | 52,631 | | |
| 退職等年金掛金 | 7.50 | 2,550 | 2,550 | | 退職等年金掛金 | 4,477 | | |
| 介護掛金 | 5.42 | 0 | 0 | | 介護掛金 | 0 | | |
| 控除額計 | | 47,657 | 47,657 | | 控除額計 | 83,680 | | |
| 支給額 | | 250,687 | 267,835 | + | 支給額 | 514,289 | = A | 1,032,811 |
| | | 1100 10 | 1100 1 | | | | | |
| 育児休業あり | | H28.12 16/22 | H29.1 16/22 | | H28.12 | 期末勤勉 | | |
| 育光が来めり 給料 | 日割 | 181,090 | 188,290 | | h 20.12 | 249,000 | | |
| 教職調整額 | <u>口刮</u> 日割 | 7,243 | 7,531 | | 教職調整額 | 9,960 | | |
| 地域手当 | <u>日刊</u> 日割 | 2,824 | 3,008 | | 地域手当 | 3,884 | | |
| 扶養手当 | 日割 | 2,024 | 4,727 | | 基礎額 | 262,844 | | |
| 通勤手当 | — H b1 | 5,300 | 5,300 | | 期末 1.375 | 361,410 | | |
| 住居手当 | 日割 | 19,636 | 19,636 | | 勤勉 0.9 | 236,559 | | |
| 義務特手当 | 日割 | 2,327 | 2,400 | | 総支給額 | 597,969 | | |
| 特殊業務手当 | — — | 0 | 0 | | 標準期末手当 | 597,000 | | |
| 総支給額 | | 218,420 | 230,892 | | 水中郊水1コ | ↓ ↓ | | |
| 石地州人 | 44 51 | 左 [[△ | 15 100 | | 运 期刊 A | 左 [[△ | | |
| 短期掛金 | 44.51 | 免除 | 15,133 | | 短期掛金 | 免除 | | |
| 共済組合厚生年金退職等年金掛金 | 88.16 | 免除 | 29,974 | | 共済組合厚生年金 | 免除 | | |
| 介護掛金 | 7.50 | 免除 | 2,550 | | 退職等年金掛金 | 免除 | | |
| 力 整 控 除 額 計 | 5.42 | 免除 0 | 47,657 | | 介護掛金 控除額計 | 免除 0 | | |
| | | | | | | | | |
| 支給額 | | 218,420 | 183,235 | + | 支給額 | 597,000 | = A' | 998,655 |
| | | 6日 | 6日 | | | | | |
| 育児休業手当金 | | 62,106 | 62,106 | | $\rightarrow \rightarrow -$ | \rightarrow | = B | 124,212 |
| 育児休業手当 | 金算出 | | | | | A' + B | = C | 1,122,867 |
| 340,000÷ | 22= | 15,450 | 10円未満四 | 捨= | 五入 | | | |
| 15, 450×67 | /100= | 10,351 | 1円未満切り | 捨` | ~ | C-A | = | 90,056 |
| 給付上限額 | | 12,927 | | | | ただし、所得 | 規は少し | 高くなります |

ちなみに、12月のみ育児休業を取得すると・・ (12月23日から12月31日 育児休業) 標準報酬月額 340,000

| 標 年報酬月額 | 340,000 | 0.00 | 0 40 | | | | | |
|---------------------|---------|----------|---------|------|-----------------------------|---|------|-----------|
| | | 2-36 | 2-40 | | 1100 10 | ## | | |
| 育児休業なし | | H28.12 | H29.1 | | H28.12 | 期末勤勉 | | |
| 給料 | | 249,000 | 258,900 | | 給料 | 249,000 | | |
| 教職調整額 | | 9,960 | 10,356 | | 教職調整額 | 9,960 | | |
| 地域手当 | | 3,884 | 4,136 | | 地域手当 | 3,884 | | |
| 扶養手当 | | 0 | 6,500 | | 基礎額 | 262,844 | | |
| 通勤手当 | | 5,300 | 5,300 | | 期末 1.375 | 361,410 | | |
| 住居手当 | | 27,000 | 27,000 | | 勤勉 0.9 | 236,559 | | |
| 義務特手当 | | 3,200 | 3,300 | | 総支給額 | 597,969 | | |
| 特殊業務手当 | | 0 | 0 | | 標準期末手当 | 597,000 | | |
| 総支給額 | | 298,344 | 315,492 | | | \downarrow | | |
| 短期掛金 | 44.51 | 15,133 | 15,133 | | 短期掛金 | 26,572 | | |
| 共済組合厚生年金 | 88.16 | 29,974 | 29,974 | | 共済組合厚生年金 | 52,631 | | |
| 退職等年金掛金 | 7.50 | 2,550 | 2,550 | | 退職等年金掛金 | 4,477 | | |
| 介護掛金 | 5.42 | 0 | 0 | | 介護掛金 | 0 | | |
| 控除額計 | | 47,657 | 47,657 | | 控除額計 | 83,680 | | |
| 支給額 | | 250,687 | 267,835 | + | 支給額 | 514,289 | = A | 1,032,811 |
| | | | | | | | | |
| <u>12月のみ</u> | | H28.12 | H29.1 | | | | | |
| 育児休業あり | | 16/22 | 22/22 | ı | H28.12 | 期末勤勉 | | |
| 給料 | 日割 | 181,090 | | | 給料 | 249,000 | | |
| 教職調整額 | 日割 | 7,243 | | | 教職調整額 | 9,960 | | |
| 地域手当 | 日割 | 2,824 | | | 地域手当 | 3,884 | | |
| 扶養手当 | 日割 | 0 | 同上 | | 基礎額 | 262,844 | | |
| 通勤手当 | | 5,300 | 1 7 | | 期末 1.375 | 361,410 | | |
| 住居手当 | 日割 | 19,636 | | | 勤勉 0.9 | 236,559 | | |
| 義務特手当 | 日割 | 2,327 | | | 総支給額 | 597,969 | | |
| 特殊業務手当 | _ | 0 | | | 標準期末手当 | 597,000 | | |
| 総支給額 | | 218,420 | 315,492 | | | \downarrow | | |
| 短期掛金 | 44.51 | 免除 | | | 短期掛金 | 免除 | | |
| 共済組合厚生年金 | 88.16 | 免除 | | | 共済組合厚生年金 | 免除 | | |
| 退職等年金掛金 | 7.50 | 免除 | 同上 | | 退職等年金掛金 | 免除 | | |
| 介護掛金 | 5.42 | 免除 | | | 介護掛金 | 免除 | | |
| 控除額計 | | 0 | 47,657 | | 控除額計 | 0 | | |
| 支給額 | | 218,420 | 267,835 | + | 支給額 | 597,000 | = A' | 1,083,255 |
| | | 6日 | 0日 | | | | | |
| 育児休業手当金 | | 62,106 | 0 д | | $\rightarrow \rightarrow -$ | → = | = B | 62,106 |
| | | <u> </u> | | I | | | | ŕ |
| 育児休業手当 | | 15 450 | 10EL+\+ | TV - | - - | A'+B = | = C | 1,145,361 |
| 340,000÷ | | | 10円未満四 | | | 0 1 | | 110 550 |
| 15, 450×67 | /100= | 10,351 | 1円未満切り | 潛 | (| C-A | = | 112,550 |
| 給付上限額 | | 12,927 | | | | ただし、所得和 | 说は少 | し高くなります |

配偶者の育児休業に関する事務について

配偶者が育児休業を取得している間、要件を満たせば

- 口扶養手当の受給
- 口税法上の配偶者控除(金額によっては配偶者特別控除) を受けられます。

口扶養手当の受給

・向こう1年間の収入を確認する必要があります。

平成29年2月4日 みどりさんは育児休業に入りました。

みどりさんは平成29年1月1日において 産後休暇(特別休暇)なので、昇給があります。

平成29年1月1日

教(二)給料2-32 238, 200円 (あ)

教職調整額 9,528円 (あ)×0.04・・(い)

地域手当 3,715円 {(あ) + (い)} ×1.5/100

義務特手当 3,000円

右ページ 資料1 をご覧ください。

・平成29年12月9日 子どもが1歳の誕生日を迎えました。

右ページ 資料2 をご覧ください。

平成29年12月9日から平成31年3月31日まで無収入となります。

マスオ先生は、みどりさんに係る扶養手当の受給申請が出来ます。

【提出書類】 扶養親族修正報告書

【添付書類】 戸籍謄本

申立書

向こう1年間の収入を証明する書類(給与支給見込証明書) 事実の生じた日の分かる書類(育児休業承認辞令等)

みどり先生が復帰したら、扶養手当の取消を忘れずに行いましょう。

【提出書類】扶養親族修正報告書

【添付書類】復帰辞令の写し等

与 支 給 給 見 込 明 書 証

1 学校名 名取市立名取小学校 資料1 職 氏名 教諭 高舘 みどり 2 3 給与支払見込期間 平成29年2月4日 ~ 平成30年2月3日 1,622,222 円 4 見込証明額 5 出産日(産後休暇期間) 平成28年12月9日 (########### ~ 平成29年2月3日) 平成29年2月4日 育児休業期間 ~ 平成31年3月31日 子が1歳に達する日 平成29年12月8日 平成31年4月1日 職務復帰日 7 給与関係 教育 (二) 2 級 32 号俸 平成29年1月1日発令 給料 238,200 円 標準報酬等級 15級 標準報酬月額 240,000 円 教職調整額 9.528 円 育児休業手当金 地域手当 1.5% 3,715 円 $240,000 \div 22 =$ 10,910 (10円未満四捨五入) 義務教育特別手当 3,000 円 10,910 ×67/100= 7,309 (1円未満切捨て) A 通勤手当 4,300 円 10,910 ×50/100= 5,455 (1円未満切捨て) B (課税対象額) 100 円 育児休業 住 期末勤勉 日 合計 内 容 給 料 丰 当 手当 手当金 2.28 124,253 124,253 A × 17 日 H29 2.4 ~ A × 23 日 A × 20 日 168,107 168,107 H29.6 期末勤勉手当計算 3.1 ~ 3.31 4.30 146.180 146.180 Α (H28.12.2~H29.6.1) 5.1 ∼ 5.31 168,107 168,107 A × 23 日 期末:(238,200+9,528+3,715) A × 22 日 184,810 160,798 345,608 $\times 122.5/100 \times 60/100 = 184,810$ 6.30 6.1 153,489 153,489 A × 21 日 7.31 除算:H29.2.4~H29.6.1 3月29日 A × 2 日 事務提要P1231の29参照 129,173 129,173 3月29日×1/2=1月29.5日 8.31 (今回は省略) \times 在職期間6月-1月29.5日=4月0.5日 В 21 日 $9.1 \sim 9.30$ 114,555 114,555 B × 21 目 (60%) $10.1 \sim 10.31$ 120,010 120,010 B \times 22 日 勤勉:勤務実績なし→支給なし ~ 11.30 120,010 120,010 В 12.1 ~ 12.31 32,730 32,730 B × 6 日 12/8まで支給 H30 1.1 ~ 1.31 0 0 計 184,810 1,437,412

> 上記のとおり相違ないことを証明します。 平成29年2月4日 名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎 印

資料2 1歳に達した時(育児休業手当金が終了したとき)

> 眀 見 書 込 証

学校名 名取市立名取小学校 1 職 氏名 教諭 高舘 みどり 平成29年12月9日 ~ 平成30年12月8日 3 給与支払見込期間 4

0 円

平成28年12月9日 (########### ~ 平成29年2月3日) 5 出産日(産後休暇期間)

~ 平成31年3月31日 子が1歳に達した日 平成29年12月8日 平成29年2月4日 育児休業期間 6

平成31年4月1日 職務復帰日

教育 (二) 2 級 32 号俸 平成29年1月1日発令 8 給与関係

給料 238,200 円 標準報酬等級 15級 標準報酬月額 240,000 円 教職調整額 9,528 円 育児休業手当金 地域手当 1.5% 3,715 円 $240,000 \div 22 =$ 10,910 (10円未満四捨五入) 義務教育特別手当 3,000 円 10,910 ×67/100= 7,309 (1円未満切捨て) A 4,300 円 10,910 ×50/100= 5,455 (1円未満切捨て) B 诵勤手当

資料2

(課税対象額) 100 円 期末勤勉 育児休業 住 月 合計 内 \exists 給 料 容 手当金 H29 12.9 ∼ 12.31 0 H30 1.1 ~ 1.31 0 0 3.31 0 3.1 4.1 ~ 4.30 0 事務提要P1231の29参照 0 5.31 6.1 ~ (今回は省略) 6.30 0 0 $7.1 \sim 7.31$ 8.31 0 9.1 ∼ 9.30 0 0 $10.1 \sim 10.31$ $11.1 \sim 11.30$ 0 12.1 ~ 0 12.8 0 0

> 上記のとおり相違ないことを証明します。 平成29年12月9日 名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎 印

平成29年6月期末勤勉手当に係る除算期間内訳書

| 学校名 | 名 | H ₁₇ | 小 | ~ | 校 | 職 | 名 | | | | 孝 | | ā | 俞 | | | |
|--------|----|-----------------|------|----------|-------|------|---------|----------------|------------|-------------|-------|---------|---|---|---|---|---|
| 子仪石 | 10 | 取 | 11, | 子 | 仪 | 氏 | 名 | į | 3 | 舘 | ? | | み | | ど | | Ŋ |
| コード | 1 | 2 | 3 4 | 5 | 6 | 職員 | 番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |
| 除算理 | 田 | 育 | 児休業 | (産 | 前産後 | 休暇 2 | 8.10.21 | ~ 29.2. | 3); | ※2 8 | .12.9 | 9出 | 産 | | | | |
| 休暇等承認期 | 間 | 平 | 成 29 | 年 2 丿 | 月 4 日 | ~ | 平 | 成 32 年 | 3 月 | 31 | 日 | | | | | | |
| 除算期 | 間 | 平 | 成 29 | 年 2 丿 | 月 4 日 | ~ | 平 | 成 29 년 | ∓ 6 | 月 1 | 日 | | | | | | |

〇 期末手当

| | 除算期間 | | | 在職期間 期末手当 在職期間 在職期間 | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------|---|-----|------------------------|---|----|------|---|---|-----------------------|-----|---|----|---|-----|--|
| 1月目 | 2/4 | ~ | 3/3 | | | | | | | | | | | | | |
| 2月目 | 3/4 | ~ | 4/3 | | | | | | | | | | | | | |
| 3月目 | 4/4 | ~ | 5/3 | | | | | | | / 基準日以前6箇月以内に勤務した期 | | | | | | |
| 4月目 | | ~ | | | | 3 | | 月 | | 間に相当する期間があるので「支給対象」 | | | | | | |
| 5月目 | | ~ | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月目 | | ~ | | | | | | | | | | | | | | |
| 端数(日) | 5/4 | ~ | 6/1 | | | 29 | | 日 | | | | | \ | | | |
| | 計 | | | (A) | 3 | 月 | 29 | 日 | 4 | 月 | 0.5 | 日 | 60 | / | 100 | |
| 育児休業の場合 | (A) × 1/2 | | | | 1 | 月 | 29.5 | 日 | | | | | | | | |

〇 勤勉手当

| ※病気休暇(| の担合 | 休暇期間の延日数 日 | (-) | 左のうち週休 | 日・休日 | 日の日数 日 | (=) (a) |
|-----------------|---------------|---------------|-----|--------|------|-------------------|---------------|
| 水州以 (水坝) | グタ 列 ロ | (a)の日数が30日を | 超える | (除算期間記 | †算必 | 要) 超えない | (除算期間計算不要) |
| r | | | | | | | ſ |
| | 除算 | 期間内訳 | 除 | 算期間 | | 勤務期間 | 勤勉手当 勤務期間率 |
| 1月目 | | ~ | | | | | |
| 2月目 | | ~ | | | | | |
| 3月目 | | ~ | | | | | 月以内に勤務した期 |
| 4月目 | | ~ | | | 月 | 間がないので 「支給対象外」 | |
| 5月目 | | ~ | | | | | |
| 6月目 | | ~ | | | | | |
| 端数(日)(B) | | ~ | | | 日 | | V |
| | | 計 | (C) | 月 | 日 | 月 日 | 0 / 100 |
| 病気休暇の場合 | (B)の期間 | 間のうち週休日・休日の日数 | (D) | | 日 | | |
| アスペア・サスマン・物口 | 除算の合 | 計 (C) — (D) | | 月 | 日 | | |

配偶者の扶養手当について

育児休業開始時には妻の向こう1年間の所得見込額が年額130万円以上見込まれたため扶養親族として認定できなかった場合でも、その後、育児休業手当金支給の終了や育児休業期間の延長など、職員の扶養関係に影響を及ぼす新たな事実が発生した場合には、その事実が発生した時点で改めて向こう1年間の所得見込額を算出し、その額が所得限度額未満と見込まれ、かつ残りの育児休業期間中、主として夫に扶養されると認められる場合には、当該期間中、夫の扶養親族として認定されます。

妻が育児休業を取得し、所得要件を満たして扶養手当を受給していても、育児休業の途中で復帰(次子の産前休暇に入る場合を含む)することにより、所得要件を満たさなくなるときは、復帰日から取消となります。

口税法上の配偶者控除

平成29年

配偶者(みどりさん)の収入について確認

次ページ参照

(収入額によっては、配偶者特別控除の対象となる場合もあります)

平成30年も所得は0円なので、配偶者控除が受けられます。

平成31年は3月31日まで育児休業です。4月1日に復帰すれば、給与収入は 130万を超えると見込まれますので、配偶者控除は受けられません。

扶養控除(異動)申告書の記入を忘れずに行いましょう。

【提出書類】K05配偶者の有無及び所得税扶養控除等修正報告書提出

記入例

平成 29 年分 給与所得者の扶養控除等 (異動) 申告書

| 11 | 成機器長等 山台北 成務者長 名取 市区町村長 | の名称 おりの の法人() 給りの の所在() | 支払者 個人)番号 支払者 値(住所) | 宮城県知事 | 本町三丁目 | 8番1号 | | 又は膀折 | 高舘 | マスオ マスオ | 2 | 和市: | | 高舘 | | 日配有名の無値を無 | 従たる給与についての鉄美俊原等中告書の提出 所は、○印を364 には、○印を364 とてください。 | ** |
|----------------|--|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------|---------------|----------------|--|--------------------|--------------------------------|----------------|----------------|-------------------|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| 50 | たに控除対象が | () (M) | フリ人 | 、、かつ、あな。 ガ ナ) 名 番 号 | た自身が確告 あなたとの 統 都 | 11. 11 | | は勤労学生のい 老人担保対象配属者 スロ 老人扶養執政 (昭25.1.1 以音生) | 野完快養製售 (平7.12年) | | 0 40 | 以下の各 | 機に記入す。 | 平 株 25 州 10 《 | りません。 り 足 前 類 生計を一に する 事実 | 異動月 (平成29年 た場合に さい(以 | 日及び事由 中に災勤があっ 記載してくだ 下同じ。)。 | ○この申告書の記載に当たっては成してあります。 |
| | A 控除対象 A 配 偶 者 | (タカダテ 高舘 | みどり | 4111 | | 16. (A) | 8 8 | | | 名取市 | 7*** | | 給与 育休- | (477,41 手当金 (: | 9) O ¹³ 1,437,412) | H29.2.4 青休に。 | | 書の記載 |
| Ē | | 1 | | LL | | 供·大 超·平 | 4 6 | 同 松・その他 老親等・その他 | | | | | | | | | | に当たっ |
| 11 11 10 11 11 | 控 際 対 章 B 扶 養 親 族 (16歳以上) (〒14.1.1以和生) | 2 | | | | 明·大 明·平 | 8 6 | 同 股・その他 老親等・その他 | | | | | | | | | | ては、裏 |
| | | 3 | | | | 研·大 昭·甲 | ¥ 25 | 同 居・その他 老親等・その他 | | | | | | | | | | 裏面の「中 |
| 100 | | 4 | | 1111 | 1 | 初·大 昭·平 | × 10 | 同 居・その他 老親等・その他 | | | | | | | | | | 「申告につい |
| | | 5 | | | | 明・北明・平 | 2 .0 | 同 Bi ・その他 老親等・その他 | | | | | | | | | | てのご注意」 |
| | 録書者、存録、存 表又は勤労学生 (**(160357338) | 1 10222 | IS分 一般の報告 | 2 2 | 拉斯財象 | A 長和朝 (A) | 2 3K 3 4980 | が設局 | 左記の | 内容(こ | の様の記載 ついてのこ | 気に当たっ ご注意上の | ては、裏面の (8) をお訪 | 12 記載 みください。 |) | 異動月 | 日及び事由 | 意」等をお |
| | C (信用を含まる を表り確認した 分析・・ 19年 母素の大概を 発展の人概を形 人してもださい | | HWHNESS HW N IN IS | | | (A) | 4 海 5 勤 労 | 类 学 生 | | | | | | | | | | お読みくだ |
| ij | 他の所得者が 控除を受ける 扶養 親族 等 | で (フ | リガナ) 名 | | 生年月1 明·大 | | 住 | 所又は | 府 所 | | 兵 | 拉股金名 | 受ける (t) まで気続何 | 也の所得: 住所又 | は財所 | 災動力 | 日及び事由 | 数に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等は、平成20年9月1日現在の所得税法等関係済令の規定に基づいて。 裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。 |
|)住 | 民税に関する7 | B項 | | | 明 大 ・ ・ | | | | | | | | | | | | | 係法令 |
| 1 | 住民提に 関する事項 6歳来満の | 1 (タカダ· 高舘 | リガナ) デカーナ) カーナ | 91 | , | fi- | \$) | 長男 28 | 年月日 | 作 名取 | 所 又 市*** | 12 18 | Bi | 控除对象外 网络执金靴族 | 平成20年中の 所得の見鏡類 0 円 | 異動月 | 日及び事由 | の規定に基づ |
| | 夫 簽 親 族 14.1.2以後生) | 3 | | 111 | | | 44 | Ar. | | | | | | | | | | ついて作 |

【参考資料】夫 所得税配偶者控除を受けるための証明書

給 与 (報 酬) 支 払 証 明 書

 1
 学校名
 名取市立名取小学校

 2
 職 氏名
 教諭 店舘 みどり

 3
 給与支払見込期間
 平成29年1月1日 ~ 平成29年1月31日

 4
 出産日(産後休暇期間)
 平成28年12月9日 (平成28年12月10日 ~ 平成29年2月3日))

 5
 育児休業期間
 平成29年2月4日 ~ 平成31年3月31日

 6
 職務復帰日
 平成31年4月1日

 7
 給与関係
 教育 (二) 2 級 32 号俸 平成29年1月1日発令

| 会科 | 238,200 円 | 標準報酬等級 | 15号棒 | 標準報酬月額 | 240,000 円 | 教職調整額 | 9,528 円 | 育児休業手当金 | 1.5% | 3,715 円 | 240,000 ÷22 | 10,910 (10円未満四捨五入) | 義務教育特別手当 | 3,000 円 | 10,910 ×67/100 | 7,309 (1円未満切捨て) A | 通勤手当 | 4,300 円 | 10,910 ×50/100 | 5,455 (1円未満切捨て) B | (理)がは免疫(2000 円 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/100 | 10,910 ×50/10

| | | | | (課税対象 | 杂額) | | 100 | 円 | | | | | |
|---------|--------|-------|---------|--------|-------|-------|-------------------------------|------------------------|---------|------------|---------|-------------------------|-------------------------|
| 月 | F | | 給 料 | 教 職調整額 | | | 扶 養 手 当 | 通 勤 手 当 | 住 居 当 | 期末勤勉 手当 | 合計 | 育児休業 手当金 (非課税) | 內 容 |
| H29 1.1 | ~ | 1.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 254,443 | 0 | |
| 2.1 | ~ | 2.3 | 35,730 | 1,429 | 557 | 450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,166 | 0 | 日割り 3/20 |
| 2.4 | \sim | 2.28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 124,253 | A × 17 日 |
| 3.1 | ~ | 3.31 | 0 | 0 | 0 | | H29.6期末勤勉手当(H28.12.2~H29.6.1) | | | | | 168,107 | A × 23 日 |
| 4.1 | ~ | 4.30 | 0 | 0 | 0 | | | ,528+3,71 0×60/100= | | 0 | 146,180 | $A \times 20 \ \exists$ | |
| 5.1 | ~ | 5.31 | 0 | 0 | 0 | | 務実績なし | | 101,010 | 0 | 168,107 | A × 23 日 | |
| 6.1 | ~ | 6.30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 184,810 | 184,810 | 160,798 | A \times 22 \exists |
| 7.1 | ~ | 7.31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 153,489 | A \times 21 \exists |
| 8.1 | ~ | 8.31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,618 | $A \times 2 \exists$ |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 114,555 | B × 21 日 |
| 9.1 | ~ | 9.30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 114,555 | B × 21 日 |
| 10.1 | ~ | 10.31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 120,010 | B × 22 日 |
| 11.1 | ~ | 11.21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 120,010 | B × 22 ∃ |
| 12.1 | ~ | 12.31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32,730 | B × 6 ∃ |
| 合 | 計 | + | 273,930 | 10,957 | 4,272 | 3,450 | 0 | 0 | 0 | 184,810 | 477,419 | 1,437,412 | |

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成29年10月○○日

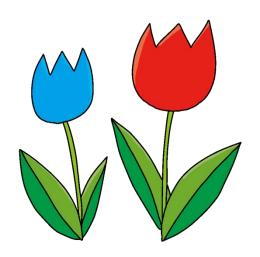
名取市立名取小学校

校長 閖上 一郎

印

^{○ 「16}歳未満の扶養親族」 個は、地方税法第45条の3の2第1項及び第2項並びに第317条の3の2第1項及び第2項に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出しなければならないとされている給与所得者の扶養親族申告書の記載動を兼ねています。

4 モデルケース 2



☆ モデルケース 2

高舘みどりさんは、第1子の育児休業中に第2子を妊娠したものの、13週目で流産して しまいました。

このモデルケースでは、どのような事務手続きをする必要があるのか、確認していきます。



| ·児休業> _{職場} |
|--|
| 【復 |
| 場 復 帰 2歳3ヵ月 H31.3.31 H31.4.1 |
| 養育状況変更届 |
| |
| |
| |
| 除 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

く高舘みどりさんの出産・育児に伴う手続きについて ②>

モデルケース2では・・・

第1子の育休中に第2子を妊娠したものの、妊娠13週 以上で流産したケースにおける手続きについてです。

☆ モデルケース 2

| 妻 | 産後休暇 ——— | \rightarrow | | 一 育児休業 | $\xrightarrow{\hspace*{1cm}}$ | ← 産 | 後休暇 ———— | ← 育児休業(再 | \longrightarrow | 職場 |
|---|----------|---------------|-------------|----------|-------------------------------|------------|----------|----------|-------------------|----------------------|
| | 出産日 | | | 1歳 | 第2子妊娠 | 13週以上で流産 | | | 2歳3ヵ月 | 復 |
| | H28.12.9 | H29.2.3 | H29.2.4 | H29.12.9 | | H30.11.21 | H31.1.16 | H31.1.17 | H31.3.31 | ^帰 H31.4.1 |

| | | | ž | 給 与 | | | | |
|-------------|----------------------|--------------|---------------|---------|-------|--------------------|-------|------|
| モデル・ | モデルケース 2 | | 諸 | 手 当 | 税 金 | 共済 | 互助会 | 児童手当 |
| | | | 本人 手続き | 夫 手続き | 夫 手続き | | | |
| 第1子出産日 | (H28.12.9) | | | 子の扶養手当 | 住民税控除 | 出産費 | 出産祝金 | 認定請求 |
| | | | | | | 乳幼児医療費助成制度該当/非該当報告 | | |
| 産後休暇 | (H28.12.10~H29.2.3) | 特別休暇(産後休暇) | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 第1子の育児休業 | (H29.2.4~H31.3.31) | 育児休業 | 期末勤勉手当 | | 所得税控除 | 育児休業手当金 | | |
| | | | | | | 育児休業等掛金免除 | | |
| 第1子 1歳 | (H29.12.9) | | | 妻の扶養手当 | | | | |
| | | | | | | | | |
| 第2子妊娠 | | | | | | | | |
| | | 代替配当申請 | | | | | | |
| 第2子13週以上で流産 | (H30.11.21) | 養育状況変更届(第1子) | | | | 出産費 | 出産見舞金 | |
| (第1子1歳11ヵ月) | | | | | | | | |
| 第2子の産後休暇 | (H30.11.22~H31.1.16) | 特別休暇(産後休暇) | 給与•期末手当支給 | 妻の扶養手当の | | 育児休業等掛金免除変更 | | |
| | | | 通勤手当停止(12•1月) | 認定取消 | | 産後掛金免除 | | |
| 第1子の再度の育児休業 | (H31.1.17~H31.3.31) | 再度の育児休業申請 | | | | 育児休業等掛金免除 | | |
| | | | | | | | | |
| 職場復帰 | (H31.4.1) | 養育状況変更届 | | | | | | |
| | | | | | | | | |

の部分は、モデルケース1と同じ。

育児休業中に妊娠した場合の事務処理について

ケース2の場合

育児休業→産後休暇→再度の育児休業

出産日(妊娠13週流産)当日は,育児休業。

翌日から産後休暇となる。

本人に関すること

服務

第1子の養育状況変更届

産後休暇の届出

第1子の再度の育児休業の申請

給与

通勤手当の停止

(このケースでは) 期末手当の支給

共済組合

第1子の育児休業等掛金免除変更申出書の提出

第2子の産前産後休業掛金免除申出書(出産日が確定しているのでこれだけでよい)

第2子の出産費請求

第1子の育児休業掛金免除申出書の提出(再度の育児休業の分)

互助会

第2子の出産見舞金請求 (夫も請求できる)

掛金納入(特別休暇中は免除とならない)

その他

夫が受給している扶養手当の取消

(ケースによっては) 所得税の配偶者控除をはずす

再度の育児休業に入った時点で、向こう1年間の収入確認

講師に関すること

第1子の育児休業が終了するので、事故やみ報告書

第2子の産後休暇に関する臨時的任用職員配当申請

第1子の再度の育児休業に関する臨時的任用配当申請

産休・育休中の職員は、一連の休暇の中で上記のような事務処理が必要となることを認識 しておらず、学校への連絡が遅れてしまうこともあるようです。休暇取得中の職員と連絡を 密に取り、事務手続きのもれや遅れのないよう注意が必要です。

職務復帰(第2子 13週流産による産後休暇開始)

給与支給見込証明書

1学校名名取市立名取小学校2職 氏名教諭高舘 みどり

4 見込証明額 2,486,793 円

5 出産日(産後休暇期間) 平成30年11月21日 (############ ~ 平成31年1月16日)

第1子育児休業中(H29.2.4~H31.3.31)に第2子 13週にて死産。

6 育児休業期間 平成31年1月17日 ~ 平成31年3月31日 (第1子の再度の育児休業)

7 職務復帰日 平成31年4月1日

8 給与関係 教育 (二) 2 級 32 号俸

11/22職務復帰,1/1昇給, 4/1職務復帰で昇給ありですが, 今回は昇給なしで算出しました。 給料 238,200 円 標準報酬等級 15号俸 標準報酬月額 240,000 教職調整額 9,528 円 育児休業手当金 地域手当 1.5% 3,715 円 $240,000\div 22=$ 10,910(10円未満切捨て)A 通勤手当 4,300 円 $10,910\times 67/100=$ 7,309 (1円未満切捨て)B (課税対象額) 100 円

| | | | | | () | 課税対象 | 額) | | 100 円 | | | | | | |
|-----|-------|--------|-------|-----------|--------|--------|--------|------------------|------------|-------------|------------|-------------|-----------|-----|----------|
| | 月 | 日 | | 給 料 | 教 職調整額 | | 義務特手 当 | 扶 養 手 当 | 通 勤 手 当 | 住 手 当 | 期末勤勉 手当 | 育児休業 手当金 | 合 計 | 内 | 容 |
| H30 | 11.22 | \sim | 11.30 | 75,790 | 3,031 | 1,182 | 954 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80,957 | 日割り | 7/22 |
| | 12.1 | \sim | 12.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 207,440 | 0 | 461,883 | | |
| H31 | 1.1 | \sim | 1.31 | 124,278 | 4,971 | 1,938 | 1,565 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 132,752 | 日割り | 12/23 |
| | 2.1 | \sim | 2.28 | | | | | | | | | 0 | 0 | | |
| | 3.1 | \sim | 3.31 | | | | | | | | | 0 | 0 | | |
| | 4.1 | \sim | 4.30 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 5.1 | \sim | 5.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 6.1 | \sim | 6.30 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | 313,045 | 0 | 571,788 | | |
| | 7.1 | \sim | 7.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 8.1 | \sim | 8.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 9.1 | \sim | 9.30 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 10.1 | \sim | 10.31 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | 11.1 | \sim | 11.21 | 238,200 | 9,528 | 3,715 | 3,000 | 0 | 4,300 | 0 | | 0 | 258,743 | | |
| | | \sim | | | | | | | | | | | 0 | | |
| | 合 | 計 | | 2,343,868 | 93,754 | 36,555 | 29,519 | 0 | 34,400 | 0 | 520,485 | 0 | 3,058,581 | | <u>-</u> |

(期末勤勉内訳)

H30.12 期末勤勉手当計算(H30.6.2~H30.11.21)

期末:(238,200+9,528+3,715)×137.5/100×60/100=207,440

除算:H30.6.2~H30.11.21 5月20日

5月20日×1/2=2月25日 在職期間6月-2月25日=3月5日

勤勉:勤務実績なし→支給なし

H31.6 期末勤勉手当計算(H31.1.17~H31.3.31)

期末:(238,200+9,528+3,715)×122.5/100×60/100=184,810

除算:H31.1.17~H31.3.31 2月15日

2月15日×1/2=1月7.5日 在職期間6月-1月7.5日=4月22.5日

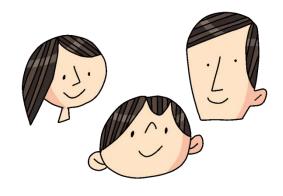
勤勉:(238,200+9,528+3,715)×85/100×60/100=128,235

除算:H31.1.17~H31.3.31 2月15日 勤務期間6月-2月5日=3月25日

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成30年11月22日 名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎 <u></u>印

巻末資料①

出産・育児休暇中に取得できる特別休暇



出産・育児期間中に取得出来る特別休暇

学校職員の勤務時間、休暇等に係る規則第20条

<女子職員>

| 号 | 種類 (内容) | 期間 | 留意事項 | 手続き |
|---|--------------------|------------|---------------------------|--------|
| | | | | (添付書類) |
| 6 | 妊娠障害 (つわり) | 10日以内で必要と認 | 妊娠中(医師又は助産 | 診断書,母 |
| | | められる期間 | 婦により妊娠が確認さ | 性健康管理 |
| | | | れた時から出産まで) | 指導事項連 |
| | | ※一妊娠期間を通じて | の女子学校職員が妊娠 | 絡カード等 |
| | (1 > < 0) | 継続して又は断続して | に起因する障害(つわ | |
| | m | 10日以内を認めるも | り)のため勤務するこ | |
| | | のとし,この場合時間 | とが著しく困難である | |
| | | 単位で付与して差し支 | 場合。 | |
| | | えない。 | | |
| 7 | 妊娠中の交通混雑の緩和 | 1日1時間又は | 妊娠中の女子学校職員 | 母性健康管 |
| | (通勤緩和) | 1日2回各30分 | が通勤に利用する交通 | 理指導事項 |
| | 1 1 | | 機関の混雑の程度(※ | 連絡カード |
| | 0 | | 1)が母胎又は胎児の健 | によること |
| | | | 康保持に影響があると | が望ましい |
| | | | 認められる場合(※2)。 | |
| | | | ※1:電車・バス等の一 | |
| | | | 般交通機関がおおむね | |
| | | | 定員を超過している状 | |
| | | | 態。また、職員が自家 | |
| | | | 用車を運転する場合 | |
| | | | は、道路の混雑も含ま | |
| | | | れる | |
| | | | ※ 2:母子保健法の規定 | |
| | | | に基づく保健指導又は | |
| | pixta.jp - 6040350 | | 健康診査を受け、医師 | |
| | | | 等から通勤緩和の指導 | |
| | | | を受けた場合 | |
| 8 | 母子保健法による保健指導又 | 必要と認められる期間 | 妊娠中又は出産後1年 | 健康診査・保 |
| | は健康検査 | | 以内に母子保健法第1 | 健指導書,母 |
| | | 1回に月1日の正規の | 0条に規定する保健指 | 子手帳の写 |
| | | 勤務時間の範囲内で必 | 導または同法第13条 | L |

| | ◇妊娠満23週まで | 要と認められる時間 | に規定する健康診査を | |
|-----|----------------|-----------------|---------------|-------|
| | : 4週間に1回 | | 受ける場合。 | |
| | ◇妊娠満24週~ | | | |
| | 満35週まで:2週間に1回 | | | |
| | ◇妊娠満36週~ | | | |
| | 出産まで:1週間に1回 | | | |
| | ◇出産後1年まで | | | |
| | :1年以内に1回 | | | |
| 9 | 妊娠中の女子職員の母胎又は | 15分単位で必要と認 | 業務が母胎又は胎児の | 医師等の指 |
| | 胎児の健康保持のための休息, | められる期間 | 健康保持に影響がある | 導が記載さ |
| | 補食時間 | | として適宜休息し,又 | れた書面, |
| | | | は補食する場合※ | 母性健康管 |
| | 95 | ①正規勤務時間等の始 | | 理指導事項 |
| | | めから連続する時間 | ※1 休暇の取得は, 保健 | 連絡カード |
| | | | 指導又は健康診査を受 | によること |
| | | ②正規勤務時間等の終 | け, 医師等から指導を | が望ましい |
| | | わりまで連続する時間 | 受けた場合 | |
| | | | | |
| 1 0 | 妊娠12週未満で流産した場 | 10日以内で必要と認 | 期間の決定は医師の診 | 診断書,証 |
| | 合 | められる期間 | 断書、証明書等による | 明書等 |
| | | | | |
| 1 1 | 産前休暇 | 出産の日までの申し出 | 8週間(多児妊娠は1 | 出産予定日 |
| | | した期間 | 4週間)以内に出産す | を証明する |
| | | | る予定の職員が請求し | 書類 |
| | | | た場合 | |
| | | | ※出産当日は産前8週 | |
| | | | 間に含む | |
| 1 2 | 産後休暇 | 出産した翌日から | ・妊娠満12週以後の | 出産証明書 |
| | | 8週間 | 分娩をいい, 死産及び | あるいは出 |
| | | | 流産を含む | 生届出済証 |
| | | | ・産後8週間は就業さ | 明書の写し |
| | | | せてはならない | |
| 1 3 | 育児時間(女子) | 1日2回それぞれ1時 | 生後満1年6箇月に達 | 母子手帳の |
| | | 間以内又は30分で合 | しない子を育てる場合 | 写し等 |
| | | 計して90分以内 | (乳幼児のところまで | 一部取り消 |
| | | ①朝 30 分・夕方 60 分 | の往復時間も含まれ | しを申し出 |
| | | ②朝 0分・夕方90分 | る) | る場合は、 |
| | | 等 | | 特別休暇承 |
| | | | | 認取消承認 |

| | | | I | ± (D) 5 |
|-----|---------------|-------------|-------------|---------|
| | | | | 書(様式 |
| | | | | 第9)によ |
| | | | | る。 |
| | | | | |
| 1 8 | 子の健康診断又は予防接種等 | 必要と認められる期間 | 中学校就学の始期に達 | 母子手帳の |
| | の受診を介助する場合 | | するまでの子が健康診 | 写し,予防接 |
| | | | 断又は予防接種を受け | 種カレンダ |
| | | | る場合 | 一,予防接種 |
| | | | | の通知書,領 |
| | | | | 収証の写し |
| 2 0 | 子の看護休暇 | 一歴年(1月~12月) | 中学校就学の始期に達 | 病院にかか |
| | | 5日以内で必要と認め | するまでの子(配偶者 | った場合は, |
| | | られる期間 | の子を含む) が負傷ま | 領収証の写 |
| | ~ | | たは疾病のため看護を | し,薬袋の写 |
| | | 中学校就学始期に達す | 必要とする場合※ | し等 |
| | | るまでの子が2人以上 | | やむを得ず |
| | | の場合は10日 | ※治療又は療養中の看 | 医療機関の |
| | | | 病, 通院等の世話(リ | 診察を受け |
| | | 継続又は断続して5日 | ハビリは含まない) | ない場合は、 |
| | ~ | 以内、時間単位でも可 | | その事情、症 |
| | | 能 | | 状を記載し |
| | | | | た疎明書 |

<男子職員>

| 号 | 種類(内容) | 期間 | 留意事項 | 手続き |
|-----|---------------|---------------|-------------|--------|
| | | | | (添付書類) |
| 1 4 | 育児時間 (男子) | 1日2回それぞれ1時 | 生後満1年6箇月に達 | 母子手帳 |
| | | 間以内又は30分でそ | しない子を育てる場合 | の写し等 |
| | | の妻が取得する時間と | | 一部取消 |
| | | 合計して90分以内 | ・妻が就労しておらず、 | を申し出 |
| | | | 負傷等により又は,介 | る場合 |
| | | | 護、就労等のため子の | は、特別 |
| | | | 養育が困難であるとき | 休暇承認 |
| | | | | 取消申請 |
| | | | | 書(様式 |
| | | | | 第9)に |
| | | | | よる。 |
| 1 6 | 妻の出産 | 2日以内 | 妻の出産に伴い勤務し | 母子手帳 |
| | | (時間単位でも可) | ない事が相当であると | の写し, |
| | | | 認められる場合※ | 入院証明 |
| | | 妻の出産に係る入院等 | | 書等 |
| | | の日から出産日後の2 | ※入院・退院時の付き | |
| | | 週間までの間において | 添い,入院中の世話, | |
| | | 2日以内で必要と認め | 子の出生の届出等 | |
| | | られる期間 | | |
| 1 7 | 男性職員の育児休暇 | 5日以内 | 当該出産に係る子又は | |
| | | (時間単位でも可) | 小学校就学の始期に達 | 等 |
| | | | するまでの子(妻の子 | |
| | | | を含む)の養育のため | |
| | | (多児妊娠の場合は14 | に勤務しない事が相当 | |
| | | 週間) 前の日から該当出産 | であると認められると | |
| | | 日の後8週間を経過する | き | |
| | | 期間内において5日以内 | | |
| | | で必要と認められる期間 | | |
| 1 8 | 子の健康診断又は予防接種等 | 女子職員と同様 | | |
| | の受診を介助する場合 | | | |
| 2 0 | 子の看護休暇 | 女子職員と同様 | | |
| | | | | |

特別休暇に関するQ&A

Q1 第13号 女子職員の育児時間

(女子職員が生後1年6箇月に達しない子を育てる場合)

1日2回それぞれ1時間以内又は30分 合計1日90分以内を取得する場合、

朝1時間の育児時間に続けて、年休を取得することは可能ですか?

A1 育児時間+年休の取得は不可となります。

規則等で明記されてませんが、育児時間の前後に勤務していることが前提(趣旨)となります。 育児時間前後に年休を取得する場合、趣旨に反するので事前に届け出ている育児時間は取り消すことになります。

そもそもの趣旨として、勤務している職員が授乳などのため一時的に勤務できなくなる場合の 休暇となっています。

Q2 第16号 妻の出産(2日以内)

第17号 男子職員の育児参加(5日以内)

どちらも該当期間内であれば、時間単位の付与が可能ですか?

例)第16号 2週間を経過するまでの日までの期間内であれば、

3時間×3日+3時間30分×1日

A2 可能です。

人事委員会規則八の六(学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則)の運用について (12)第16号について イ (13)第17号について イ に明記されています。

Q3 第20号 子の看護休暇

中学校就学の始期に達するまでの子が2人以上の場合にあっては、10日となっているが、1人が4月から中学校に入学した場合の取扱はどうなりますか?

A3 1月~3月で8日取得済みの場合・・4月以降 20号の残は0日 1月~3月で4日取得済みの場合・・4月以降 20号の残は1日 となります。

巻末資料②

参考様式



【参考】

産休・育休に入る先生へ お子さんが生まれる先生へ

【服務関係】

特別休暇簿 (様式5-1)

特別休暇承認取消申請書(様式第8)

臨時的任用職員配当申請書

事故やみ報告書

育児休業承認請求書(様式第1号) 本人

育児休業承認請求書(様式第1号) 夫

育児休業承認請求書(様式第1号) 本人 再度の育児休業

部分休業承認請求書(様式第5号)

部分休業承認報告書(別記様式第2号)

養育状況変更届 (様式第3号)

【給与関係】

扶養手当支給申請に係る申立書 給料減額報告書(K61)

【共済関係】

産前産後休業掛金免除申出書(別紙様式第14号の1の4)

産前産後休業掛金免除変更申請書(別紙様式第14号の1の4の2)

育児休業等掛金免除/育児部分休業等掛金免除申出書(様式第14号の1の2)

出産費等内払金支払依頼書/出産費·家族出産費請求書

出産費及び家族出産費請求書(受取代理用)

育児休業手当金(変更)請求書

標準報酬等級表 (平成28年10月~)

~ 産休・育休に入る先生へ~

| 氏名 | | | | | 先生 | | | | |
|----------|---|---|---|---|----|---|---|---|----------------------|
| 出産予定日 | 年 | 月 | | 日 | | | | | |
| 産前休暇 | 年 | 月 | ~ | 日 | ~ | 年 | 月 | 日 | |
| 産後休暇(予定) | 年 | 月 | ~ | 日 | ~ | 年 | 月 | 日 | 出産の連絡がありましたら、お知らせします |

出産費に関する確認(出産費について病院からどのような説明を受けていますか?)

□ 直接支払制度の利用 有 ・ 無 □ 受取代理制度

給与に関すること

共済掛金 〇月分から免除。(産前6週から免除となります) 所得税 年末調整が受けられます。時期がきたら連絡します。

住民税 育児休業に入った以降の分は、後日自宅に振込用紙が届きます。

貸付弁済金 育休中は申出することにより償還猶予が受けられます。

復帰後,毎月償還(倍返し)又は,1回か2回での割賦で償還を選べます。

育児休業中でも,貸付申込は可能です。

財形控除 一般 育児休業に入ると中断されます。

年金・住宅 "2年を超えて育休を取得する場合には、事前に金融機関で手続きすることで、

非課税措置を受けられます。復帰時には再開手続きが必要です。

期末勤勉手当の月分の期末手当・勤勉手当は支給されます。

校内控除に関すること

互助会掛金 月の初日から末日まで育児休業中は免除(産休中は免除にならない)

互助会団体保険 自分の加入している保険会社に連絡し、手続きをしてください。

弘済会(ジブラルタ) 保険会社に連絡し、手続きして下さい。 厚生部 育休中は掛金の中断が出来ます。

出産祝い金の請求が出来ます。(請求書・厚生部ホームページ)

組合費 組合に確認してください

生協 保険会社に連絡し、手続きして下さい。

生協に連絡し、手続きしてください。

親睦会 例)〇月分まで控除。

給食費 例) 〇月分給料で精算。個別精算。

その他

産休中は給与が支給されます。育児休業中は月ごとに土・日の日数を除いた日数分の育児休業手当金が給付されます。 育休開始後2ヶ月程度たってから給付スタートとなります。手当金の金額の目安は、月〇〇円程度です。(67% 50%)

育児休業について

お子さんが3歳の誕生日前日まで取得可能。

延長は、特別の事情がある場合を除き1回に限られています。よく考えて期間を決めて下さい。 育児休業を取得する1ヶ月前までに市町村教委を経由して県教委へ提出しなければなりません。 名前が決まり次第、速やかに提出してください。

| ж. | 产衫 | 乡捍 | HH | T1. | \ | だく | 書類 |
|----|--------------|-------|----|-----|----------|-----|----|
| ш. | <i>r</i> + 1 | או אי | шч | | · / _ / | _ ` | |

| 育児休業承認請求書 | 母子手帳の写し添付 |
|-----------|-----------|
| 出産祝金請求書 | |

□ 出産費請求書

宮城県教育委員会 教職員課のホームへ ージに 育児休業Q&A がのっていますので, 産前休暇 中にぜひご覧ください。

~ もうすぐお子さんが生まれる先生へ ~

| 氏名 | | | | |
|------------------|------------------|-------------------|--------|--|
| 特別休暇 | | | | |
| 第16 号 | 配偶者出産 | 補助休暇 | 2日 | 時間単位で取得可 |
| 第17号 | 育児参加休 | 暇 | 5日 | 時間単位で取得可 |
| 扶養手当 | 母子手帳の | 写し | | |
| | 配偶者が民 | 間企業に勤務 | め場合 | 扶養手当を受給していないことの証明書 |
| 児童手当 | | 住まいの市町 員の住民票(約 | | ナ場合は, その時に一緒にとって来ていただくと, スムーズです。 {! たいもの} |
| | | | | (額改定の場合は不要) |
| | | ne Ac | -女=>// | (限以足以为自16年安) |
| 乳幼児医療 | 助成申告 | 乳幼児医療 | の申請を | :しましたか? |
| | | 該当•非該当 | 当がわか | りましたら,連絡ください。 |
| マイナンバー | _ | お子さんので | | バーが決定し,通知書が届きましたら,連絡ください。 á) |
| 出産祝金請 | 求 | | | |
| | 養手当を受給 | 合している場合 | | |
| | | | | 完からどのような説明を受けていますか?) □ 受取代理制度 |
| | いている場合 | | | |
| | がお子さんの 業を取得しま | | 給してい | ないことの証明書を会社から発行してもらってください。 |

宮城県教育委員会 教職員課のホームページに育児休業Q&Aが載っています。 お時間のある時に、ぜひご覧ください。

取得する場合 期間はいつまでですか?

| <u>7</u> | 平成 | 2 | 8 | 年 | | | ļ | 特 | 別 | , | 休 | | 暇 | 簿 | | | | | |
|----------|---------------|----------|----------|--------------|----|---|-----------------|--------------|-----------------|-----|--------------|-----|-------|---|---------------------------------------|-------|-----------------|---------------|------------------------|
| | | | | | | | | ייו | \J.1 | | V 1 * | | TEX | T√J* | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 所 | 属 | 3 | 各取市 | 方立名 | 名取小学 | 校 | |
| | | | | | | | | | | | | 職 | 教諭 | 氏名 | | 高語 | <u></u> 舘 みど | <u> </u> | |
| | | | | | | | | | | | | 坝以 | 子人印刷 | 八石 | | 11111 | <u>п</u> •// С | · <u> </u> | |
| | | | | | | | | | | | | | | に関する | 規貝 | IJ) ģ | 第25条第 | 第1項(| の |
| | | 規 | 定に | こ基 | づき | | 特別休暇 | せい ・ 届 | として届出 | | (1) | ます。 | • | | | 決 | 表 | !: | |
| п | ы | /1. | | | | | 日 数 | | | * | * | * | I FH | 承認の | 承 | 認 | 所属長 | X. | /++: - 1 -y |
| 月 | 日 | 休 | | | 期 | 間 | 時 間分 | 事 | 由 | | | | 本人印 | 可否 | 受 月 | 理日 | の印 | | 備考 |
| | • | 休服 | | | | |)わかるも | のを添ん | 寸 | | | | | | | | | | |
| | | | 月 | | 時 | 分 | | 本兴 | i休暇 | | | | | □承認 | - | | | | |
| 8 | 25 | 自至 | 10 12 | 21 15 | | | 56 日 時間 分 | 出産予算 | | | | | 印 | □ 承応 □ 不承記 ☑ 受理 | 8 | 25 | (財上 | | |
| | · 予定 出生 | | | | | | 場合の産行 全前休暇の | | 消申請書 | も提出 | t | | | | | | またぐ休暇 | | ては、 |
| | | | 月 | | • | | | | | | | | | | ************************************* | 呼(〜牧 | 記してもよ | :.·\ | |
| 12 | 9 | 自 至 | 12 2 | 10 3 | | | 56 日 時間 分 | 出産日 | 手12月 9日 | | | | (Ell) | □ 承認 □ 不承記 ☑ 受理 | 3 12 | 9 | 展上 上 | | |
| | 参考 | | _ | | | _ | れた場合と産後休眠 | | 2日に生る 証明書等 | | | 合) | | 延長 | 期間の | りみる | を記入 | | |
| | | <u> </u> | 月 | | | | | | | | | = | | | | | | | |
| 12 | 22 | 自至 | | 16 22 | | | 7 日 時間 分 | 出産日 | 暇の延長 F12月22日 | | | | (EII) | □ 承認□ 不承記☑ 受理 | 12 | 22 | 閖上 | | |
| 12 | 22 | 自 | 月 12 | 23 | | 分 | 56 目 | 産後 | 休暇 | | | | 印 | □ 承認□ 不承認 | 9 12 | 22 | 開 | | |
| 12 | 22 | 至 | | 16 | | | 時間 分 | 出産日 平成28年 | F12月22日 | | | | H | ☑ 受理 | 5 12 | 22 | 上 | | |
| | | 自至 | 月 | Ħ | 時 | 分 | 日時間 | | | | | | | | | | | | |
| | | 土. | 月 | 日 | 時 | 分 | 分 | | | | | | | | <u> </u> | | | | |
| | 産後 | 休明 | | | | : | 後の死産 | の場合 | | | | | | | | | | | |
| | | | 月 | | | 分 | | 産谷 | 全休暇 | | | | | □承認 | | | | | |
| 11 | 21 | 自 至 | 11 | 22 16 | | | 56 日 時間 | | | | | | (印) | □ 示配 □ 不承記 | 9 11 | 22 | 閖 | | |

^{※1} 人事委員会規則8-6(学校職員の勤務時間,休暇等に関する規則)第20条第1項第11号から13号までの特別休暇及び 同項第15号に規定する特別休暇については,届出及び受理とする。

^{※2} 特別休暇(申請・届出)書(様式第5-2)により承認を受けた場合は、承認後当該承認のあった休暇期間等を転記すること。 ※3 *印の欄は、取得日数が決まっている特別休暇の残日数欄として使用すること。

(病気休暇·特別休暇·介護休暇·介護時間) 承 認 取 消 申 請 書

平成 28 年 12 月 9 日

名取市教育委員会教育長 殿

所 属 名取市立名取小学校

職教諭

氏名 高舘 みどり

印

既に承認を得ている下記休暇について,承認取消しを申請します。

| 1休暇区 | 分 | 病気休暇 | 吳 (| 特 | 別休暇 |) · | 介言 | 護 休 暇 | • 1 | 介護時 | 間 |
|-------------------------|-----|---------|------------|------|------|-----|-------|--------|------|------|-----|
| 2 既に承記 得ている(d の 期 | | 平成 28 | 3年) | 10 月 | 21 日 | ~ | 平成 | 28 年 | 12 月 | 15 日 | |
| 3 承認の取 しを求め、 とする期 | よう | 平成 28 | 3年] | 12 月 | 10 日 | ~ | 平成 | 28 年 | 12 月 | 15 日 | |
| 4 摘 9 | 更 | 出産予定 | 目前に | 出産し | たため | | | | | | |
| 受付年月日 | 平成 | 28 年 12 | 2 月 | 9 日 | 決裁 | 战年月 | 月日 | 平成 | 28 年 | 12 月 | 9 日 |
| | 教育長 | 校長 | 教 | 頭 | | | 事務 | Ç J | 受 | 付 | |
| 決 裁 欄 | 専決 | Ell | F | | | | (FIII | | 28. | 12.9 | |

名取市教育委員会 教育長 滝沢 翼 様

2 申請事由

名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎

臨時的任用職員配当申請書

このたび下記のとおり職員の代替として、臨時的任用職員が必要となりましたので

配当されるよう関係書類を添えて申請します。

記

1 職員職・氏名 教諭 高舘 みどり

産前産後休暇のため

育児休業の場合

申請理由
育児休業のため

希望配当期間 平成29年2月 4日 平成29年3月31日

3 希望配当期間 自 平成 28 年 10 月 21 日

至 平成 29 年 2 月 9 日

4 産前産後休暇の場合 育児休業希望の有無

有)・ 無 (平成31年3月31日まで)

5 備考 出産予定日 平成 28 年 12 月 15 日

(中学校の場合)教科 ○○

延長の場合 申請理由

平成28年12月22日出産

予定日(12月15日)より遅れたため延長

希望配当期間

平成29年2月10日 平成29年2月16日 担当 事務長 天丼勝太郎

電話 000-000-0000

名 小 第 ○ ○ 号 平成 28 年 12 月 22 日

名取市教育委員会 教育長 滝沢 翼 様

> 名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎

事故やみ報告書

下記のとおり事故やみになりますので報告します。

記

| 職名 | 氏 名 | 配 当 を う け た 期 間 | 出 産 日 ま た は 病 名 | 事故やみの日 | 代替教員氏名 | 任用期間 |
|----|-------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------|--------|-----------|
| | | H28.10.21 | | | | H28.10.21 |
| 教諭 | 高舘みどり | \sim | H28.12.9 | H29.2.4 | 00 00 | \sim |
| | | H29.2.9 | | | | H29.2.3 |

担当 事務長 天丼勝太郎

電話 000-000-0000

様式第1号(第3条関係) (平成29年4月1日から新様式 続柄→続柄等) 育児休業承認請求書

| 宮城県教 | 数育委員会 殿 | | | | 請 | 示 年。 | 月日 | 平成 2 8 | 年1 | 2月20日 |
|---------------------------------------|-----------------|-------------------|---------|-----|-------------------------|---------------|------------|----------|---------------|-----------|
| | (所属長 | ·経由印) | | | | | | | | |
| | 請求者 | <u>所</u> | | 市立名 | 取小学校 | 文 | (所 | 属コート | · 1 | .23456) |
| | | <u>職</u> 名 氏 名 | | みど | <u>'</u> ') | € | _ ① (職」 | 員番号 | 123 | 4567890) |
| | | | | (| 条第1項 | 5 | _ | | 一 | 児休 |
| <u></u> | 也方公務員の育児 | 見休業等に | 関する法律 | | スカエラ 条第1項 | | 規定に | 基づき, | $\overline{}$ | · 児休 |
| | の 承 認 を請 | 情求します。 | | | | | | | | |
| 業期 | 間の延長 | | | | | | | | | |
| き + 17 | 氏 名 | 高舘 | カーナ | | | | | | | |
| 請求に係る子 | 続 柄 等 | 長男 | | | | | | | | |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 生年月日 | 平成 | 28 年 | 1 2 | 月 9 | 日 | 生 | | | |
| | ☑ 育児休業 <i>0</i> |)承認 | | | 育児休業 | 関制 | の延長 | <u>.</u> | | |
| | □ 再度の育児 | 見休業の承認 | 認 | | 再度の育 | 育児休 | 業期間 | の延長 | | |
| 請求の内容 | (再度の育 | 児休業, | 再度の育 | 児休業 | 美期間の | 延長 | 又は | 非常勤職 | 钱員 | の |
| hit size of 1 and | 1歳6か月 | までの子 | の育児休 | 業が必 | 公要な事 | 情を | 記入) | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 請求期間 | 平成 2 9 | 9年 2. | 月 4日カ | 16 | 平成3 | 年 | 3月 | 31日ま | きで | |
| 既に育児休業をした | | 年 , | 月 日カ | 15 | | 年 | 月 | 日才 | きで | |
| 期間 | | 年 | 月 日カ | 16 | | 年 | 月 | 日書 | きで | |
| | 氏 | 名 | | | | | | | | |
| 配偶者 | 育児休業の類 | HI 目目 | | 年 | 月 | | 日カ | 16 | | |
| | 月児小未りを | 初间 | | 年 | 月 | | 日ま | きで | | |
| 備考 | | | | | | | | | | |
| VII.4 | | | | | | | | | | |
| (県教委記) | 人欄) | | | | | | | | | |
| 受理年月日 | 白 | F 月 | 日 | | | П | 承知 | | | 不予初 |
| 決裁年月日 | | F 月 | 月 | | | | 承認 | | | 不承認 |
| | | | | | | 耵 | · 戦 | | _ | |
| 決 裁 欄 | | | | | | | | | | ĽH |
| | | | | | | 氏 | 名 | | | 印 |

| 台北 旧乡 | 效育委員会 | 殿 | | | | | ij | 清求年 | 月日 | 平原 | 戊28年1 | 1月 | 1日 |
|------------------|----------------------|--------------|------------|----|------------------|-----------|--|-------------|---------------|-------------|----------------|-------------|-----|
| 当 | (所 | 「属長経 情求者 | | 属 | 夕币 | a 古☆≜ | 色田園 由 | 学校 | (= | 近届 つ | ード 6 | 5/39 | 21) |
| | ДF | 9771 | 職 : | | 教諭 | (1)1.77.7 | ЕШМТ | 子仅 | (); | 刀/两一 | 1. 0 | 040 | 21) |
| | | | 氏 : | 名 | 高舘 | マス | .オ | (| <u></u> (! | 職員番 | 等号 098 | 765432 | 1) |
| | 地方公務員の | | | | ⁻ る法律 | <u></u> | 2条第1 ³ 3条第1 ³ | <i>(</i> () | 規定 | どに基っ | つき. 🖳 | 児休 | |
| 業期 | 間の延長 | を請求 | します | 0 | | | | | | | | | |
| 請 求 に 係 る 子 | 氏 名 続 柄 等 生年月日 | È | 出生 | 後名 | 前が決 | まった | | 度,全 | てを | 記入し | までに申請 したものを | | • |
| 請求の内容 | (再度 | 育児体の育児 | 業の承 休業, | 再 | 度の育 | □ ·児休 | 育児休 再度の 業期間の 必要な ¹ | 育児休 の延長 | 業期と又り | 間の | 延長 常勤職員 | Ø | |
| 1. The BB | | | | | | | | | | | | | |
| 請求期間 | 平成 | 戈 29年 | | | 23日カ | 36 | 平成3 | | 1 | | 9日まで | | |
| 既 に 育 児 休業をした | | 年 | <u> </u> | 月 | 日カ | 16 | | 年 | | 月 | 日まで | | |
| 期間 | | 年 | | 月 | 日カ | 16 | | 年 | | 月 | 日まで | | |
| | 氏 | 名 | | | | | | | | | | | |
| 配偶者 | 育児休業 | 業の期間 |] | | | 年 年 | 月 月 | | 日日 | から まで | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | |
| (県教委記力 | (欄) | | | | | | | | | | | | |
| 受理年月日 | | 年 | 月 | | 日 | | | | - ∓4.÷ | ≑ रा | | ⋥ ⋛Ŋ | |
| 決裁年月日 | | 年 | 月 | | 日 | | | | 承 | 可心 | | 不承認 | |
| | | | | | | | | I | 敞 | | | | |
| 決裁欄 | | | | | | | | 氏 | 名 | | | | 印 |

(裏面)

- ① この請求書(非常勤職員の任期の更新等に伴う再度の育児休業に係るものを除く。)には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産)証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書などのいずれか)を添付すること(写しでも可)。
- ② 「請求の内容」欄の「非常勤職員の1歳6か月までの子の育児休業」とは, 条例第2条の3第3号に掲げる場合に該当してする育児休業をいう。
- ③ 子の出生前に請求する場合は、「請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、 「請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後、速やかに行うこと。
- ④ 非常勤職員の任期の更新等に伴う再度の育児休業をしようとする場合は、所属、職名、氏名、「請求期間」欄及び「既に育児休業をした期間」欄のみを記入すること。
- ⑤ 「配偶者」欄は、非常勤職員が1歳2か月までの子の育児休業又は1歳6か月までの子の育児休業をしようとする場合(条例第2条の3第2号又は第3号に掲げる場合に該当して育児休業の承認を請求する場合)に記入すること。
- ⑥ 備考欄には、(ア)請求に係る子以外の3歳に満たない子を養育する場合(当該請求に係る子の出生の日から57日間に、職員(当該期間内に労働基準法(昭和22年法律第49号)第65条第2項の規定により勤務しなかった職員を除く。)が当該請求に係る子について最初の育児休業をする場合を除く。)にはその氏名、請求者との続柄等及び生年月日、(イ)請求に係る子が養子の場合においては、養子縁組の効力が生じた日、(ウ)請求に係る子以外の子について現に育児休業の承認を受けている場合においてはその旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求に係る期間等について記入すること。
- ⑦ 該当する口にはレ印を記入すること。

様式第1号(第3条関係) (平成29年4月1日から新様式 続柄→続柄等) 育児休業承認請求書

| | | | | | | 清求年 | 月日 平成 | 30年 | 12月 5日 |
|--------------|------------------------------------|---------------------------------------|-----------|-------|--|-------------|-----------------|-------|-------------|
| 宮城県教 | 故育委員会 殿 | | | | | | | | |
| | | 長経由印) | | | | | | | |
| | 請求 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | 3取小学 | 校 | (所属= | コード | 123456) |
| | | 職 | | | | | | | |
| | | <u>氏</u> | 名 高舘 | [みと | 9 | (| <u>D</u> (職員番 | 号 123 | 34567890) |
| | 也方公務員の育り | 見休業等に | 関する法律 | ₮ └── | 2 条第 1 ¹ 3 条第 1 ¹ | | 規定に基っ | つき, 🖳 | 「児休」 「児休 |
| | の 承 認 | 清求します | 0 | | | | | | |
| | 氏 名 | 高舘 | 、カーナ | | | | | | |
| 請求に係る子 | 続 柄 等 | 長 | :男 | | | | | | |
| 一体 る 丁 | 生年月日 | 平成 | 28 = | F 12 | 月 | 9 日 | 生 | | |
| 請求の内容 | □ 育児休業(☑ 再度の育) (再度の 1歳6か | 児休業の 育児休業 | , 再度の | ↑育児↑ | 木業期 | 育児休 間の 延 | 業期間の発表しています。 | 非常勤罪 | 戦員の |
| | 第一子の育児 | | 第二子を妊 | 娠した | が妊娠(|) () 週 | 死産のた | .め、産後 | 後休暇を取得 |
| | した。その期 | 間が終了 | するため, | 再度の | 育児休業 | 巻を請っ | 求するもの | 0 | |
| 請求期間 | 平成 3 | 1年 : | 月17日7 | から | 平成3 | 1年 | 3月3 | 1日まで | |
| 既に育児 | 平成 2 | 9年 2 | 2月 4日7 | から | 平成3 | 0年 | 11月2 | 1 日まで | |
| 休業をした 期 | | 年 | 月 日7 | から | | 年 | | 日まで | |
| 朔 | 氏 | 名 | | | | • | | | |
| 配偶者 | | | | 年 | ———— 月 | | 日 から | | |
| | 育児休業の | 期間 | | 年 | 月 | | 日まで | | |
| 備考 | | | | | | | ,, ,, | | |
| (県教委記) | (欄) | | | | | | | | |
| 受理年月日 | 2 | 年月 | 日 | | | | | | |
| 決裁年月日 | - | 年月 | 月 | | | | 承認 | | 不承認 |
| | | | | | | н | | | |
| 決 裁 欄 | | | | | | 4 | 19 4 | | |
| | | | | | | 氏 | 名 | | 印 |

部 分 休 業 承 認 請 求 書

| | | | | | | | 請求年 | 年月 日 | 平成 3 | 3 1年 | 2月 | 1 月 |
|--------|----------------|--------------------|--------|-----------|-----------|------------|--------------|------------|-----------|------|--------|----------|
| 名取ī | 市教育委員会 | / \ | | | | | | | | | | |
| | (所 | 属長経 | 目印) | | | | | | | | | |
| | 請求 | 者 <u></u> <u> </u> | 斤属 | 名取 | 市立名 | 1取小 | 学校 | | (所属= | ュード | 1234 | .56) |
| | | <u>耶</u> | 3 名 | 教諭 | j <u></u> | | | | | | | |
| | | <u> </u> | F 名 | 高舘 | みと | ごり | | | (職員番 | 号 [| 123456 | 3790) |
| 下記の | とおり部分休 | 業の承認 | 恩を請求 | こしま | す。 | | | | | | | |
| | 氏 名 | | 高舘 | カー | ナ | | | | | | | |
| 請求に係る子 | 続 柄 等 | | 長男 | | | | | | | | | |
| N .9 1 | 生年月日 | | 平成 2 | 8年 | 1 2 | 月 | 9日 | 生 | | | | |
| | | 期 | | | 間 | | | | 時 | | 間 | |
| 請求期間 | 平成 31 年 | 4月1日 | ヨから | \square | 毎日 | | | 午前 | 8 時1 | 0 分~ | 9時 | 10 分 |
| | 平成32 年 | 3月31日 | 目まで | | その化 | <u>p</u> (|) | 午後 | 3 時4 | 0分~ | 4 時 | 40 分 |
| 及び時間 | 年 | 月日 | から | | 毎日 | | | 午前 | 時 | 分~ | 時 | 分 |
| | 年 . | 月日 | まで | | その化 | <u>p</u> (|) | 午後 | 時 | 分~ | 時 | 分 |
| | ſ | 山走る | だけ長』 | 八世月月 | 月八七 | きまる | けるもの | でなる | ふご | | | |
| 備考 | | | | | | | ,るもの 青求を行 | | • | ている | 0 | |
| , pin | | | | | | | | | | | | |
| | | | -1. fo | | | | | | | | | |
| (注) ① | この請求書 | | | | | | | | | | | |
| | を証明する 健康手帳の | | | | | | | | | | | |
| | ごのいずれか) | | | | | | |) <u> </u> | , , | , / | | 7, 1 |
| 2 | 部分休業の | の承認 | が, 聙 | 員 : | からし | の請 | 求に基 | づき | 取り消 | 当され | した 場 | :合は, |
| その | り旨を裏面に | 記入する | こと。 | | | | | | | | | |
| 3 | 亥当する□に1 | はレ印を | 記入す | るこ | と。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 受理年月日 | | 年 | 月 | 日 | | | | |] 承認 | | П | 不承認 |
| 決裁年月日 | | 年 | 月 | 月 | | Ī | | | , 1, thr. | | | 1 /1/4/0 |
| | | | | | | | | 珊 | È | | | |
| 決裁権 | | | | | | | | 氏 | 名 | | | 印 |

様式第5号(裏面) (第13条関係)

| 日付 | 休業の意 | 承認を取 | り消され | た時間 | 時間数 | 請求者印 | 所属長印 | 備 考 | |
|-------|----------|-------------|-------------------|---------------------|---|----------|------|---------------------|---|
| HIJ | 午 | 前 | 午 | 後 | 时间数 | 明八日日 | 別周以刊 | 1/H 1/5 | ٢ |
| 4/5 | 時 | 分から | 3時4 | 0分から | 1時間 | Ð | | 特休 | |
| 4/ 5 | 時 | 分まで | 4時4 | 0分まで | 分 | | | 14 NK | |
| 4/16 | 時 | 分から | 3時4 | 0分から | 1時間 | Ð | Ð | 出張 | |
| 4/10 | 時 | 分まで | 4時4 | 0分まで | 分 | <u> </u> | | ЩЖ | |
| 4/30 | 8時1 | 0分から | 3時4 | 0分から | 2 時間 | Ð | Ð | 年休 | |
| 4/ 00 | 9時1 | 0分まで | 4時4 | 0分まで | 分 | | | P P P | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | n±: | ハふ、と | n _l : | /\4\> | 1土 日日 | | | | |
| | この車面け | ・コトー) | して利用する | スレトい | | | | | |
| | | | | | 理しやすい | \ | | | |
| | 水1月77-多人 | 700 U (A,) | | () () () () () | 上 し 、 り に に に に に に に に に に に に に | 0 | | | |
| | | | <u>.</u> | | | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |
| | 時 | 分から | 時 | 分から | 時間 | | | | |
| | 時 | 分まで | 時 | 分まで | 分 | | | | |

月ごとに 市教委へ提出。

部分休業承認報告書

平成 31 年 5 月 〇 日

名取市教育委員会 殿

名取市立名取小学校 校長 閖上 一郎 所属長名

地方公務員の育児休業に関する法律第19条第1項により部分休業を承認したの で、下記のとおり報告します。

記

(平成 31 年 4 月分)

| | 求 | | 者 | 月 | 1 認 | 期 | 間 及 | び | 11年 | 間 | | |
|--------|----------|-------------|-----|----|--------------|---|-----|---------|-----|-----|-----|-----|
| 印刊 | △ | | 1 | 月 | 八山心 | 刼 | り 及 | <u></u> | 时 | H1 | 備 | 考 |
| 職名 | 日 | € / | 名 | 其 | 阴 | | 間 | | 時 | 間 | נחע | • • |
| 教諭 | 高 | 舘 みど | 'IJ | | 31 年 31 年 | | | | 3 | 8 | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日7 | から | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | まで | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日7 | から | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | まで | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日7 | から | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | まで | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日7 | から | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | まで | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日7 | から | | | | |
| | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | まで | | | | |
| (県教委 | 記入 | 欄) | | | | | | | | | | |
| 受理年月 | 日 | 平成 | | 年 | 月 | J | 日 | | | | | |
| 決裁年月 | 日 | 平成 | | 年 | 月 | J | 日 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
|) I +b | 100 | | | | | | | | | 職 | | |
| 決裁 | 欄 | | | | | | | | | 氏名 | | 印 |
| | | | | | | | | | | - 1 | | H4 |

様式変更平成29年4月1日から ※マークの事由追加

様式第3号(第5条,第11条関係)

養 育 状 況 変 更 届

平成〇〇年 〇月 〇日

(所属長経由印)

)

宮城県教育委員会 殿

復帰日の1ヶ月半前頃に市町村教委経由

<u>所 属 ○○ ○○</u> (所属コード

して、県教委へ提出する。

育 児 休 業

次のとおり 育児短時間勤務 に係る子の養育の状況について変更が生じたので届け 部 分 休 業

職名教諭

出ます。

| 1 | 届出の事由 |
|---|-------|
| | /mm |

| □ 育児休業等に係る子を養育しなくなった | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------|---------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| □ 同居しなくなった | □ 負傷・疾病 | □ 託児できるようになった | | | | | | | | |
| □その他(|) | | | | | | | | | |
| □ 育児休業等に係る子が死 | 亡した | | | | | | | | | |
| □ 育児休業等に係る子と離 | 縁した | | | | | | | | | |
| □ 育児休業等に係る子との | 養子縁組が取り消され | れた | | | | | | | | |

□ 育児休業等に係る子との親族関係が特別養子縁組により終了した

- ※□ 育児休業等に係る子についての民法第817条の2第1項の規定による請求に係る家事審判事 件が終了した
- ※□ 育児休業等に係る子との養子縁組が成立しないまま児童福祉法第27条第1項第3号の規定による措置が解除された
 - ☑ その他(育児(部分)休業期間の満了 第2子の産後休暇取得のため(流産) など)

2 届出の事由が発生した日

○○ 年 ○月 ○日 → 復帰日

扶養手当支給申請に係る申立書

平成29年 12月 9日

宮城県教育委員会 殿

所属 名取市立美田園中学校 職・氏名 教諭 高舘 マスオ 高 舘

妻 高舘 みどりは長男 カーナを平成28年12月9日に出産し、平成29年2月4日から 平成31年3月31日まで育児休業を取得して長男の養育に専念しております。

平成29年12月8日に育児休業手当金支給期間が終了し、現在無収入になりましたので、 主として私の収入により妻は生活を維持しており、このたび扶養手当を受給するため関係 書類を添えて申請します。

記

- 1 添付書類
 - (1) 戸籍抄本
 - (2) 育児休業の辞令(写)
 - (3) 給与支給見込証明書

給料減額報告書

平成31年5月1日

(所属長) 名取市立名取小学校

校長 閖上 一郎

| 確認印 | 記入者氏名 |
|-----|-------|
| | 00 00 |

| カード No. | 所 属 所属コード 4 5 6 7 8 9 | 氏 名 | 減額 - すべき 時間数 | 処 理 指 備 考 定 |
|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------|---|
| K 6 1 | 名取小学校 | 高 舘 み ど り 1234567890 | 38 | H31. 4. 1~H32. 3. 31まで部分休業 (H31. 4月分) |
| K 6 1 K 6 1 K 6 1 K 6 1 | | | | ※時間数が未確定の場合は、鉛筆書きで提出。 (添付書類) ・部分休業承認請求書裏面の写し ・出勤簿の写し ・部分休業の取消が勤務や出張によるものでない場合は、それが分かる特休簿、年休簿等の写し 例月提出後、時間数に変更があった場合は、教育事務所へFAXを送る。 |
| K 6 1 K 6 1 K 6 1 | | | | (初回のみ添付するもの) ・部分休業承認請求書の写し ・市町村教委からの承認通知書の写し |

1 枚中 1 枚目

宮 城 県

産前産後休業掛金免除 申出書

| 所属所名 | | 名 | 取り | 小学 | 校 | |
|------------|---|---|----|----|---|---|
| 所属所 コード | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 組合員 | 氏 名 組合員証番号 | | | 年月日 | 平成 〇〇 | 年 〇〇月 〇〇日 |
|------|----------------------------|-------|-----|------|--------------|-------------|
| 産 | 前産後 休暇 の | | 初日 | 平成28 | 8年10月21日 | 平成30年11月22日 |
| * 産前 | (休暇期間) 8週 ~産後 83 | 週を記入 | 終了日 | 平成29 | 9年 2月 9日 | 平成31年 1月16日 |
| | 前産後休業の | | 初日 | 平成28 | 8年11月 4日 | 平成30年11月22日 |
| | 掛金免除期間 6週~産後83 | | 終了日 | 平成29 | 9年 2月 9日 | 平成31年 1月16日 |
| | 出産予 | 予定日 | | 平成28 | 8年12月15日 | 平成 年 月 日 |
| | 出 | 産日 | | 平成 | 年 月 日 | 平成30年11月21日 |
| | 出産(う | 予定)種別 | | | 単胎 | • 多 胎 / |

地方公務員等共済組合法 第114条の2の2の規定により、産前産後休業期間に係る

掛金免除を申し出ます。

公立学校共済組合宮城支部長 殿

平成 28年 9月 1日 (平成30年 11月 30日) ケース2の場合の記入例 出産日が確定しているので、 変更申出書は不要

住所 名取市〇〇

申出者

氏名 高舘 みどり

(EII)

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

平成 28年 9月 1日

(平成30年 11月 30日) 所属所所在地 名取市□□

 所属所長
 職名
 校長

 氏名
 閖上 一郎

印

- ※「産前産後休暇の期間」の欄には、特別休暇期間の初日と終了日を記入し、特別休暇簿等の写し を添付してください。
- ※「産前産後休業の期間」の欄には、掛金免除となる産前42日(6週間)、産後56日(8週間)を記入し、産前産後休業に係る子の出産予定日(出産日)の確認できる書類(母子手帳等)を添付してください。なお、多胎妊娠の場合は産前98日(14週間)です。

産前産後休業掛金免除 変更 申出書

所属所名 名取小学校 所属所 1 2 3 4 5 6

| 組合員 | 氏 組合員証 | 名 番号 | 1 2 | 高部3 | 第 4 5 | | とぎ | 9 8 9 | 0 | 生生 | 年月日 | 平原 | 戈 | 00 | 年 | 0 | ○月 | 00 |)目 |
|-------------------------------------|-----------|---------|-----|-----|-------|----|----|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|
| 産前産後 休業 の期間 (当 初) | | | | | 初 | 目 | | 7 | 乙成 | 2 | 8年 | 1 | 1月 | 2 | 4 日 | | | | |
| (ヨー切) *当初の産前6週~産後8週を記入 | | | 入 | | 終 | 了目 | | <u> 1</u> | 乙成 | 2 | 9年 | 4 | 2月 | Ç | 9 日 | | | | |
| 産前産後 休業 の期間 (変更後) | | | | | 初 | 日 | | 7 | 乙成 | 2 | 8年 | 1 (|) 月 | 2 9 | 9 日 | | | | |
| *実際の産 | | | 8 3 | 題を | 記 | 入 | | 終 | 了日 | | 7 | 乙成 | 2 | 9年 | 4 | 2月 | | 3 目 | |
| | Ц | 出産う | 定日 | 1 | | | | | | | 7 | 乙成 | | 年 | | 月 | | 日 | |
| 出産日 | | | | | | | | 7 | 乙成 | 2 | 8年 | 1 2 | 2月 | Ç | 9 日 | | | | |
| | 出産種別 | | | | | | | | | Œ | 脂 | D | • | 多 | 胎 | | | | |

地方公務員等共済組合法 第114条の2の2の規定により、産前産後休業期間に係る 掛金免除変更を申し出ます。

公立学校共済組合宮城支部長 殿

平成 28年 12月 14日

住所 名取市〇〇

申出者

氏名 高舘 みどり (EII)

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

平成 28年 12月 14日

所属所所在地 名取市□□

所属所長 職名 氏名 校長

閖上 一郎

印

- 1 掛金免除申出日は、出産日以降の日を記入してください。
- 産前産後休業の事実を証明する書類(特別休暇簿等の写)及び産前産後休業に 係る子の出産日の確認できる書類(母子手帳等)を添付してください。

育 児 休 業 等 掛 金 免 除 育児部分休業等掛金免除 申出書

| 所属所名 | | | 名耳 | | | |
|------------|---|---|----|---------|---|---|
| 所属所 コード | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 組合員 | 氏 名 組合員証番号 | | 9 0 生 | 年月日 | 平成〇 | 〇年 〇〇 |)月 ()〇日 | 1 |
|---|--------------------|----------------------|--|---------|-------------|-------|---------|---|
| 育児休 | | 中の掛金免除申出 | <u> </u> | 平成 | 29年2月6日 | 平成31 | 年1月17日 | 1 |
| 育児休第 | 美等の期間に | 本田仕光炊の畑間 | 初日 | 平成 | 29年2月4日 | 平成31 | 年1月17日 | |
| 係る掛金 | を免除の申出 | 育児休業等の期間 | 終了日 | 平成 | 31年3月31日 | 平成31 | 年3月31日 | |
| | の期間に係る | 部分休業の期間 | 初日 | | 平成 年 | 月 | E / | |
| 掛金の一 | 部免除の申出 | HIV) 11-7K ->)011H1 | 終了日 | 平成年 | | 月 | 日 | |
| 育児休 | 業(部分休業) | に係る子の生年月 | 目 | | 平成 28年 | 12月 | 9 日 | |
| 地方公務員の育児休業等に関する法律 根拠法令 育児休業,介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 | | | | | | | | |
| 地方公務員等共済組合法 第114条の2第1項 第114条の2第2項 掛金の 免除 一部免除 を申し出ます。 公立学校共済組合宮城支部長 殿 で規定により、育児休業期間等に係る | | | | | | | | |
| | 9年 2月 6 31年1月17 | | 住所 | 名取ī | ホ ○○ | | | |
| | | 申 | 出者 氏名 | | 舘 みどり | | (FI) | |
| 上記の記載 | 載事項は,事実 | こと相違ないものと認 | 忍めます。 | | | | | |
| 平成 2 | 9年 2月 6 | 5 目 | | | | | | |
| | 31年1月17 | | 所所在地 | 名取页 | Ħ□□ | | | |
| | | 所属 | 所長 所長 氏名 | 校長 閉 | 上 一郎 | | 印 | |

- _____ 1 掛金免除申出日は,育児休業開始日の属する月内の日を記入してください。
- 2 育児休業の事実を証明する書類(辞令写)及び育児休業に係る子の生年月日の確認できる書類を添付 してください。

育児休業等掛金免除変更 育児部分休業等掛金免除変更

申出書

| 所属所名 | 名取小 | | | | | |
|------------|-----|---|---|---|---|---|
| 所属所 コード | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 組合員 | 氏 名 組合員証番号 | | どり 7 8 9 0 | 生生 | 年月日 | | 平成〇〇 |)年 ()(| O月 OC |) 目 |
|-------------------------|------------|--|---------------|----|-----|-----|-------|--------|-------|-----|
| 育児休業(部分休業)を開始した日 | | | | | | 平成 | 29年 | 2月 | 4 日 | |
| 育児休業(部分休業)中の掛金免除申出日 | | | | | 平成 | 年 | 月 | 日 | | |
| 杏旧 | 変更前 | | | ή | | 平成 | 31年 | 3月 | 3 1 目 | |
| 育児休業(部分休業)が終了する日 変更後 | | | | 平成 | 29年 | 11月 | 2 1 目 | | | |
| 育児休業(部分休業)に係る子の生年月日 | | | | 平成 | 28年 | 12月 | 9 目 | | | |

地方公務員等共済組合法施行規程

の規定により,

の期間に係る掛金免除の変更を申し出ます

公立学校共済組合宮城支部長 殿

平成29年11月30日

住所 名取市〇〇

申出者

氏名 高舘 みどり

印

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

平成29年11月30日

所属所所在地 名取市□□

所属所長 職名 氏名 校長

閖上 一郎

印

- 1 掛金免除申出日は、育児休業期間の変更をした日の属する月内の日を記入してください。
- 2 育児休業の事実を証明する書類(辞令写)を添付してください。

* 直接支払制度を利用する場合

(本人・家族)

☑ 出産費等内払金支払依頼書 直接支払制度を利用した場合

| 口 屮 产费 | ፟፟፟፟・家族出産費 | 1.制度を利用した! | \ 받 슫 | | 給付 | | | 円 | |
|----------|-------------|-------------------|------------------|-----------|-------|-----------|-------------|-------------|---|
| 口 叫连貝 | , | 明小音 | 五明及 と刊用 ひない | , .480 CI | 定 | 加金 | | | 円 |
| | | | | | 額合 | 計 | | | 円 |
| 所属所名 | 名取小学校 | 組合員氏名 | 高舘 | みど | Ŋ | 資格」 | 出産: 取得(認 | 者の 限定)年月 | 日 |
| 所属所コード | 1 2 3 4 5 6 | 組合員証番号 | 1 2 3 4 5 | 6 7 | 8 9 0 | 昭和 平成 | 00: | 年〇月〇 | 日 |
| 出産者氏名 | 本人 | 続柄() | 出産日 | | 平成 2 | 28 年 | 12 | 月 9 | 日 |
| 出産児氏名 | 高舘 カーナ | 続柄は(子)と 続柄(長男) | 書かないように (医療機関 | _f | | 00 | 〇病 | 院 | |
| 直接支払制度を利 | 利用しない場合のみ | | | | | | | | |
| | 医師 又 | 、は 助 産 | 師の言 | 证 明 | 欄 | | | | ŀ |
| 出産者氏名 | | | 左記のとお | り相違 | ないとと | を証明 平成 | する。 年 | 月 | В |
| 出産年月日 | 平成 年 (好 | 月日振 | 所在地 | | | | · | | |
| 出産児の数 | 単胎多胎 | (児) | 機関名 | | | | | | |
| 死産の有無 | 有 : 無 | ・混在 | 医師名 | | | | | (FI) | |
| 上記のとおり | 請求します。 | | | | | | | | |
| | | ₽п. | | | | | | | |
| 公立字校共 | 済組合宮城支部長 | 殿 | | | | | | | |
| | 平成 〇〇 年 〇 | 月〇〇日 | | | | | | | |
| | | | 住 所 | 宮城県 | 名取市C | 000 | | | |
| | | 請求者 | | | | | | | |
| | | H.3.3. El | 氏 名 | 高舘 | みどり | | | (EII) | |
| | | | | | T = | r = = | - 117 11 | | _ |

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

所属所受理年月日 平成〇〇年〇月〇〇日

平成 〇〇 年 〇 月 〇〇 日

所属所名 名取市立名取小学校

所属所長 校長 閖上 一郎

印

【添付書類】(□にチェックを入れてください)

- □ 出産費用明細書の写し(代理受取額が表記されているもの)※直接支払制度を利用した場合のみ提出
- □ 直接支払制度の合意文書
- □ 産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩であることを証明する印が押されたもの
- □ 出産者が被扶養者の資格を取得した日から6か月以内に出産した場合であって、直接支払制度を利用しない 場合は、「辞退申出書」を添付してください。
- □ 添付書類なし

<u>直接支払制度を利用した場合、</u>添付書類は不要です。ただし、支払機関から送付される請求書等の確認後となるため、 給付決定が遅れることがあります。なお、添付書類を提出いただければ、速やかに給付決定します。

【注意事項】

- 1 直接支払制度を利用しない場合のみ、「医師又は助産師の証明欄」の証明を受けてください。
- 2 多胎児以上の場合でも、請求書は一枚で構いません。
- 3 ※印欄は記入しないでください。

直接支払制度を利用した場合、添付書類は3点必要。

【添付書類】 (口にチェックを入れる)

- ☑ 出産費用明細書の写し(代理受取額が表記されているもの)
- 直接支払制度の合意文書
- ☑ 産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩であることを証明する印が押されたもの ※出産費等内払金支払依頼書のみ(添付書類なし)の提出でも受付可能。 ただし、支払機関から送付される請求書等の確認後となるため、給付決定が遅れることがあります。

直接支払制度を利用した場合 医師の証明は要りません。

* 直接支払制度を利用しない場合

(本及・家族)

□ 出産費等内払金支払依頼書

直接支払制度を利用した場合

☑ 出産費・家族出産費請求書直接支払制度を利用しない場合

 ※
 法定給付
 円

 决
 附加金
 円

 額
 合
 計
 円

出産者の 高舘 みどり 名取小学校 組合員氏名 所属所名 資格取得(認定)年月日 昭和 平成 所属所コード 4 5 6 組合員証番号 〇〇年〇月〇日 2 3 5 6 8 9 出産者氏名 本人 続柄() 出産日 平成 28 年 12 月 9 日 続柄は(子)と書かないように 出産児氏名 高舘 カーナ ○○○病院 (医療機関名) 続柄(長男)

直接支払制度を利用しない場合のみ

医師又は助産師の証明欄

田産者氏名 高舘 みどり

田産年月日 平成28年12月9日 (妊娠○○週)

田産児の数 単胎 多胎 (児)

死産の有無 有 ・無 ・ 混在

左記のとおり相違ないことを証明する。

平成〇〇年〇月〇〇日

所在地 〒○○ - ○○○ 宮城県○○○○

機関名

〇〇〇病院

医師名 〇〇 〇〇 印

上記のとおり請求します。

公立学校共済組合宮城支部長 殿

平成 〇〇 年 〇 月 〇〇 日

住 所 宮城県名取市〇〇〇

請求者

氏 名 高舘 みどり

(EII)

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

所属所受理年月日 平成○○年○月○○日

平成 〇〇 年 〇 月 〇〇 日

所属所名 名取市立名取小学校

所属所長 校長 閖上 一郎

印

【添付書類】(□にチェックを入れてください)

- □ 出産費用明細書の写し(代理受取額が表記されているもの)<u>※直接支払制度を利用した場合のみ提出</u>
- □ 直接支払制度の合意文書
- □ 産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩であることを証明する印が押されたもの
- □ 出産者が被扶養者の資格を取得した日から6か月以内に出産した場合であって、直接支払制度を利用しない場合は、「辞退申出書」を添付してください。
- □ 添付書類なし

直接支払制度を利用した場合、添付書類は不要です。ただし、支払機関から送付される請求書等の確認後となるため、給付決定が遅れることがあります。なお、添付書類を提出いただければ、速やかに給付決定します。

【注意事項】

- 1 直接支払制度を利用しない場合のみ、「医師又は助産師の証明欄」の証明を受けてください。
- 2 多胎児以上の場合でも、請求書は一枚で構いません。
- 3 ※印欄は記入しないでください。

直接支払制度を利用しない場合,添付書類は2点必要。

出産者が被扶養者の資格を取得した日から6か月以内に出産した場合は、「辞退申 出書」を添付。

【添付書類】 (口にチェックを入れる)

- ☑ 直接支払制度の合意文書
- ☑ 産科医療補償制度加入機関で出産した場合は、制度対象分娩である
- ことを証明する印が押されたもの。

直接支払制度を利用しない場合 医師又は助産師に証明欄を書いてもらう。

*受理代理制度を利用した場合(本人)

公立学校共済組合宮城支部長 殿

出産費及び家族出産費請求書(受取代理用)

| | | 氏名 | 高舘 みどり | | 印 | 組合員 | 証番号 | 1234 | 567890 |
|-----|--|-----------------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|---|-------------------|----------------|
| | 組合員 | 住所 | 〒 ○○○-○○○○ 宮城県名取市○○○ | | | • | 電話〇〇 | 00(000)00 | 000 |
| | | 生年月日 | | 年 | | ○月 | |) 日 | |
| | 出産予定日·数 | | 平成 28年 | 12月 | 1 | 15 | |)・多(| 胎) |
| 組 | 出産予定者 | 氏名 | (フリガナ) | | | | | | |
| 合 | ※申請者と同一の場合は不 要です | 生年月日 | Æ | F | J | 1 | 日 | | |
| 員 | 出産予定 | 名称 | (7)J#+) 0000 000 | | | | | | |
| 記入 | 医療機関等 | 所在地 | ₹ 000-0000 | (フリガナ) | 0000 | 000 | 000 | | |
| 人欄 | 申請者又は出産予定者 ずれかに記載をお願い ※ 健康保険法第106条又は船 資格を喪失した最後の保険者から | します。 員保険法第73条の | 規定により、1年以上健康保険又 | | | | | | |
| | 申請者本人の退職等によ 資格喪失後、6か月以内に | | | 保険者名 | | | | 1 | |
| | 格喪失後に加入している | | | 記号 | | | 番 | :号 | |
| | 申請者本人の家族が被扶による申請である場合は、 | その家族が被 | | 保険者名記号 | | | - | ·号 | |
| | いた保険者名と記号・番号 | i | | 記写 | | | 1 | 77 | |
| | と定め、次の権限をす | を任します。こ 費等のうち、 ご関し請求す | 乙が甲に対して出産 る費用が42万円を起 | の医療機 に関し請 図える場合 | 幾関等・ 求する うには、 | への直接 費用の額 、附加給 | 支払制度 ^{※注1} (上 付である5 | では利用しま 限42万円)の | せん。 の受領に関す |
| 受取 | 平成 〇〇 年 〇 | 月〇日 | 1 | | | | | | |
| 代理 | 甲(組合員)の | の住所 宮城 | は県名取市○○○ | | | | | | |
| 人記 | 氏名 | 高籍 | ま みどり | 印 | | | | | |
| 入欄 | 乙(代理人)の | の住所 宮城 | 以中〇〇〇〇〇〇 | | | | | | |
| TIM | 名称 | OC | 000 | 印 | 電話 | 000(0 | 000)000 | 00 | |
| | 受取代理人に 対する支払金 | | | | 銀行 金庫 信組 | | | | 店·本店 支店·出張所 |
| | 融機関 預金 | | 口座 番号 | | | 口座 名義 | フリガナ) | | |
| | 上記の記載事項は | 、事実と相違 | ないものと認めます。 | | | | | 所属所受理 | 埋 年月日 |
| 所属 | 平成○○年○月○日 | | | | | | | 平成〇〇年 | ○月○日 |
| 所長欄 | | | 所属 | 属所名 | 2 | 名取市立 | 名取小学 | 学校 | |
| 欄 | | | 所属 | 属所長 | | | 上一郎 | 印 | |

- 注1 産科医療補償制度に加入していない医療機関の場合は40万4千円とし、附加給付と合わせた上限額を45万4千円として 取り扱うものとする。
- 注2 添付書類 出産予定日の確認できるもの。(母子健康手帳の写し等)

育児休業手当金(変更)請求書

| × | 67% | 支給分 | 円 |
|----|-----|-----|---|
| 決定 | 50% | 支給分 | 円 |
| 額 | 合 | 計 | 円 |

| 所属 所名 | 名取小 | 組合員氏名 | 高 | 舘 みどり | 生 | 三 年 | Ę, | 月 | 日 | |
|-----------|------------|-------------|----------------------|---------------|------------|------|----|------|-------------------|----------------|
| 所属所コード | 123456 | 組合員証番号 公立宮城 | 1 2 3 | 4 5 6 7 8 9 0 | 年号和平成 | 2 | 3 | 4 | | [∃] 7 |
| 対象となる子の氏名 | 高舘 | カーナ | 生年月日 | 平成 28 年 | 12 | 月 | 9 |) | 日 | |
| 育児休業期間 | 平成 29 年 | 2 月 4 | 日 ~ | 平成 31 年 | 3 | 月 | 3 | 1 | 日ま | きで |
| 変更の場合 | 平成 年 | 月 | 日 ~ | 平成 年 | | 月 | | | 日 扌 | きで |
| 請求期間(月毎) | 平成 29 年 2 | 2 月 4 日 | ~ 平成 | 29 年 2 月 2 | 8 日 水 | 木 | 金 | ± | 日月 | 1 火 |
| 掛金の基礎となる額 | 等級 第 | 15 級 標 | 準報酬月額 | 額 240,000 | 円甲 | 曜日 | 曜日 | | | 曜日日 |
| 請求日数 | 17 日 | 請求金 | | 124, 253 | 円 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 3 7 |
| (67%支給分) | | (67%支 | 給分) | 124, 233 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 1 | 3 14 |
| 請求日数 | 日 | 請求金 | 全額 | | 円 15 | 5 16 | 17 | 18 | 19 2 | 0 21 |
| (50%支給分) | | (50%支 | 給分) | | 22 | 2 23 | 24 | 25 2 | 26 <mark>2</mark> | 7 28 |
| 請求期間中の給料の |)支給についての有領 | # | (#) | • 有 | 29 | 30 | 31 | ※該当 | 日に丈 | い色付 |
| 配偶者の育児休業 | / m | | . Г 1 0 П | | о <i>т</i> | 1 - | _ | | | + |

取得の有無・期間

無(有

期間 平成28年12月23日 ~ 平成29年 1月 9日 まで

有の場合は、該当する番号を○で囲み、その事由を確認できる書類を添付してください。

対象となる子が、1歳 に達した日以後の支給 期間延長の有無

(地方公務員等共済組

合法施行規則第2条の 503)

無・有

- 1 保育所に入所不可(無認可保育所除く)・・・保育所の入所不承諾等の通知書
- 2 配偶者の死亡又は別居等・・・住民票の写し及び母子健康手帳の写し
- 3 配偶者の負傷、疾病等・・・医師の診断書及び母子健康手帳の写し
- 4 配偶者の出産・・・母子健康手帳の写し
- ※ 延長事由が消滅した場合は請求できません。(延長途中に保育所に入所した場合など)

上記のとおり請求します。

公立学校共済組合宮城支部長 殿

平成 29 年 3 月 1 日 請求者 住所 名取市〇〇

> 氏名 高舘みどり (ED)

上記の記載事項は事実と相違ないものと認めます。

所 属 所 受 理 年 月 日 平成 29 年 月 日

印

平成 29 年 3 月 1 日

所属所名 名取市立名取小学校

所属所長 校長 閖 上 一郎

【添付書類】

育児休業に関する辞令の写し(初回請求時及び育児休業の期間に変更があったとき)

【注意事項】

- 1 所属機関の長の証明を受けてから提出してください。
- 2 請求期間の末日以降に提出してください。
- 3 ※印欄は記入しないでください。

標準報酬等級表(平成28年10月~)

| | 等級 | | | | 標準報酬 | 標準報酬 |
|-------|-------|-------|---------------------------------------|-------|------------|---------|
| 短期給付 | 退職等 | 厚生年金 | 報酬月額 | | の月額 | の日額 |
| 等 | 年金給付 | 保険 | | | | の口段 |
| - | - | 第1級 | | 00円未満 | 88,000円 | - |
| 第1級 | 第1級 | 第2級 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 00円未満 | 98,000円 | 4,450円 |
| 第2級 | 第2級 | 第 3 級 | | 00円未満 | 104,000円 | 4,730円 |
| 第 3 級 | 第 3 級 | 第4級 | | 00円未満 | 110,000円 | 5,000円 |
| 第4級 | 第4級 | 第5級 | | 00円未満 | 118,000円 | 5,360円 |
| 第5級 | 第5級 | 第6級 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 00円未満 | 126,000円 | 5,730円 |
| 第6級 | 第6級 | 第7級 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 00円未満 | 134,000円 | 6,090円 |
| 第7級 | 第7級 | 第8級 | | 00円未満 | 142,000円 | 6,450円 |
| 第8級 | 第8級 | 第9級 | | 00円未満 | 150,000円 | 6,820円 |
| 第9級 | 第9級 | 第10級 | | 00円未満 | 160,000円 | 7,270円 |
| 第10級 | 第10級 | 第11級 | | 00円未満 | 170,000円 | 7,730円 |
| 第11級 | 第11級 | 第12級 | • | 00円未満 | 180,000円 | 8,180円 |
| 第12級 | 第12級 | 第13級 | | 00円未満 | 190,000円 | |
| 第13級 | 第13級 | 第14級 | | 00円未満 | 200,000円 | 9,090円 |
| 第14級 | 第14級 | 第15級 | | 00円未満 | 220,000円 | 10,000円 |
| 第15級 | 第15級 | 第16級 | · | 00円未満 | 240,000円 | 10,910円 |
| 第16級 | 第16級 | 第17級 | | 00円未満 | 260,000円 | |
| 第17級 | 第17級 | 第18級 | | 00円未満 | 280,000円 | 12,730円 |
| 第18級 | 第18級 | 第19級 | | 00円未満 | 300,000円 | 13,640円 |
| 第19級 | 第19級 | 第20級 | | 00円未満 | 320,000円 | 14,550円 |
| 第20級 | 第20級 | 第21級 | | 00円未満 | 340,000円 | 15,450円 |
| 第21級 | 第21級 | 第22級 | | 00円未満 | 360,000円 | 16,360円 |
| 第22級 | 第22級 | 第23級 | | 00円未満 | 380,000円 | 17,270円 |
| 第23級 | 第23級 | 第24級 | | 00円未満 | 410,000円 | 18,640円 |
| 第24級 | 第24級 | 第25級 | | 00円未満 | 440,000円 | 20,000円 |
| 第25級 | 第25級 | 第26級 | | 00円未満 | 470,000円 | |
| 第26級 | 第26級 | 第27級 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 00円未満 | 500,000円 | 22,730円 |
| 第27級 | 第27級 | 第28級 | | 00円未満 | 530,000円 | 24,090円 |
| 第28級 | 第28級 | 第29級 | | 00円未満 | 560,000円 | |
| 第29級 | 第29級 | 第30級 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 00円未満 | 590,000円 | |
| 第30級 | 第30級 | 第31級 | | 00円未満 | | |
| 第31級 | - | - | | 00円未満 | 650,000円 | 29,550円 |
| 第32級 | - | - | | 00円未満 | 680,000円 | 30,910円 |
| 第33級 | - | - | | 00円未満 | 710,000円 | 32,270円 |
| 第34級 | - | - | | 00円未満 | 750,000円 | 34,090円 |
| 第35級 | - | - | | 00円未満 | 790,000円 | 35,910円 |
| 第36級 | - | - | | 00円未満 | 830,000円 | 37,730円 |
| 第37級 | - | - | | 00円未満 | 880,000円 | 40,000円 |
| 第38級 | - | - | | 00円未満 | 930,000円 | 42,270円 |
| 第39級 | - | - | 955,000円以上 1,005,0 | | 980,000円 | 44,550円 |
| 第40級 | - | - | 1,005,000円以上 1,055,0 | | 1,030,000円 | 46,820円 |
| 第41級 | - | - | 1,055,000円以上 1,115,0 | | 1,090,000円 | 49,550円 |
| 第42級 | - | - | 1,115,000円以上 1,175,0 | | 1,150,000円 | 52,270円 |
| 第43級 | - | - | 1,175,000円以上 1,235,0 | | 1,210,000円 | 55,000円 |
| 第44級 | - | - | 1,235,000円以上 1,295,0 | | 1,270,000円 | 57,730円 |
| 第45級 | - | - | 1,295,000円以上 1,355,0 | UU円木満 | 1,330,000円 | 60,450円 |
| 第46級 | - | - | 1,355,000円以上 | | 1,390,000円 | 63,180円 |

※「標準報酬の月額」の下限額と上限額について

| | 下限額 | (報酬月額) | 上限額 | (報酬月額) |
|---------|---------|------------|------------|--------------|
| 短期給付等 | 98,000円 | 101,000円未満 | 1,390,000円 | 1,355,000円以上 |
| 退職等年金給付 | 98,000円 | 101,000円未満 | 620,000円 | 605,000円以上 |
| 厚生年金 | 88,000円 | 93,000円未満 | 620,000円 | 605,000円以上 |



名取市小中学校事務職員研究会

| | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------|--------|--------|
| 高 舘 小 学 校 | 渡邉 厚子 | 渡邉 厚子 |
| 愛島小学校 | | 佐々木 敏幸 |
| 増 田 小 学 校 | 伊藤 順子 | |
| 下增田小学校 | 樋口 静子 | 小野 直樹 |
| 那智が丘小学校 | 相澤 るみ子 | 相澤 るみ子 |
| 不二が丘小学校 | 奥間 由希絵 | 奥間 由希絵 |
| 相互台小学校 | 白谷 日登美 | 白谷 日登美 |
| 閖 上 中 学 校 | 齋藤 萌美 | 齋藤 萌美 |
| 名取•第二中学校 | 相澤 由紀子 | 相澤 由紀子 |
| みどり台 中学 校 | 浅野 誉富 | |

